



令和6年度

七ヶ浜町の教育





■ 町章 ■

七ヶ浜町の「七」を図案化し、全体の円は町民の
団結融和を表し、「七」の字を中心に強く配したのは、
町民生活の安定と町の発展を表徴したものです。

七ヶ浜町町民歌

三浦幸子 作詞
渡辺波光 補作詩
海銚義美 作曲

一、黒潮寄せる 東の

七つの海の 朝ぼらけ

緑の風も さわやかに

光りあふれて 鳥歌う

おお わが町よ七ヶ浜

二、古いも若きも 手をとりにて

輝く大地 海原に

力のかぎり いそしめば

希望ははるか 虹を呼ぶ

おお わが町よ七ヶ浜

三、御殿の跡や 君が岡

大木の歴史 誇りとし

文化の華の 咲き匂う

豊かな郷土 うちたてん

おお わが町よ七ヶ浜

七ヶ浜町町民歌



■ 町花／はまぎく ■

はまぎくは、その名のように海浜の
断崖などに、ごくわずかの土に根を太
く深く張り、潮風に耐え、清楚で白い
可憐な花を咲かせます。



■ 町木／くろまつ ■

くろまつは、町内の至るところに林
立し、防潮、防風林として昔から黙々
として防災の大役を果たしてきてお
り、町民にも親しまれております。

目 次

A. 七ヶ浜町の概要 〈1〉〈2〉〈3〉 P 1

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 自然環境のあゆみ | 6 防災のあゆみ |
| 2 歴史 | 7 町内地図・案内 |
| 3 産業のあゆみ | 8 教育予算比 |
| 4 文化・スポーツのあゆみ | 9 児童・生徒数 |
| 5 観光のあゆみ | 10 人口構成 |

B. 七ヶ浜町教育基本方針 P 6

- 1** はじめに
- 2** 学校教育
 - 〈1〉 学校教育の方針
 - 〈2〉 めざす児童・生徒像
 - 〈3〉 重点施策・重点事業
 - 〈4〉 その他の事業
 - 〈5〉 「七ヶ浜・グローバルPROJECT」～世界を見据えて、地域に根差す～

C. 教育委員会事務局組織機構図 P 13

D. 生涯学習のまちづくり P 14

- 1** 基本方針
- 2** 施策の展開
- 3** 実施事業の効果検証と更新
- 4** 生涯学習のまちづくり 計画体系
- 5** 第7期 七ヶ浜町生涯学習のまちづくり推進5ヶ年計画[2022-2026]改訂版

E. 教育費予算 P 17

F. 小中学校の概要

P 19

- | | |
|----------|--------------|
| 1 亦楽小学校 | 4 七ヶ浜中学校 |
| 2 松ヶ浜小学校 | 5 向洋中学校 |
| 3 汐見小学校 | 6 学校教育支援センター |

G. 学校給食センターの概要

P 41

- 1 給食運営方針
- 2 基本方針
- 3 重点目標
- 4 重点施策
- 5 運営組織機構・職員構成

H. 生涯学習（社会教育）関係団体名簿

P 43

I. 七ヶ浜町の生涯学習施設

P 45

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1 社会教育施設等 | 〈4〉七ヶ浜町老人福祉センター「浜風」 |
| 〈1〉七ヶ浜町中央公民館 | 〈5〉七ヶ浜町図書センター |
| 〈2〉西部地区公民館
（遠山境山地区コミュニティセンター） | 2 スポーツ施設 |
| 〈3〉七ヶ浜町歴史資料館 | 3 七ヶ浜国際村 |
| | 4 保育所及び幼稚園・認定こども園 |

J. 教育関係各種委員

P 51

- | | |
|-----------|----------------|
| 1 教育委員 | 4 スポーツ推進委員 |
| 2 社会教育委員 | 5 分館長 |
| 3 文化財保護委員 | 6 学校給食センター運営委員 |

A. 七ヶ浜町の概要〈1〉（令和6年4月1日現在）

1 自然環境のあゆみ

本町は、宮城県の中央部に位置し、面積13.19km²、人口17,748人でほぼ方形に近い半島状の地形です。面積は東北で最も小さな町で、昔から七ヶ浜に生活する人々は、「海」とともに生きてきました。

南は太平洋に面し、東に金華山の霊峰、北東は大小の島々が点在する日本三景松島を望むことができます。また、西は仙台、塩竈、多賀城の三市に接し、はるかに奥羽の連峰を展望する景勝の地です。気候は、夏は涼しく冬は暖かい海洋性気候で、降雨・雪の量も少なく生活環境は最適の地です。

2 歴史

縄文時代の早い時期に人が住み始め、50カ所もある遺跡から土器や石器の出土が見られます。とくに大木囲貝塚は、その規模と出土品の多さ、さらにはここから出土した土器は年代を決める基準にされていることで有名です。また、縄文時代の後半から製塩を行っていた痕跡が町内から多数確認されており、塩の交易などが行われていたと推測されます。

日本書記には、『日本武尊』の一行が上総国（千葉県）から陸奥国（東北地方）に入り、海路で本町に上陸したとする記述があり、海上交通の重要地点であると思われます。鎌倉時代以降は、花淵紀伊、吉田右近の両氏がこの地に館を築いて産業を起こしました。その後、伊達藩の直轄地となり、代々の藩主が巡遊の地として足跡を残し、由緒ある地名も残されています。

明治2年に仙台藩知事の直轄地となり、明治9年には「湊浜」「松ヶ浜」「菖蒲田浜」「花淵浜」「吉田浜」「代ヶ崎浜」「東宮浜」の七つの浜を一括して「七ヶ浜」と称することになりました。

その後、明治22年の町村制施行により初めて七ヶ浜村となり、人口の増加、産業の発達、施設の充実などにより、昭和34年1月1日に町制が施行され、町の発展とともに平成3年12月には人口が2万人を超えました。

3 産業のあゆみ

明治末期に漁法と機械の導入により飛躍的に漁業の町として発展し、昭和初期には、資本主義経済の発達につれて北洋漁業の開拓の歴史がある町として発展してきました。

沿岸に点在する岩礁は、魚やアワビ、ウニの生息の場でもあり、近年は沿岸漁業や特に海苔養殖業は地場産業の基幹を成しており、県内で有数の生産高と高品質を誇っています。また特産品を活用した「産業まつり」や「七の市」は、観光出店として10年以上も続いています。

さらに「生産⇒加工⇒販売」の連携による6次産業化を推進し、また商業・業務系エリアを設定し、今後の産業の育成を目指しています。

4 文化・スポーツのあゆみ

本町では、昭和53年に中央公民館を町民の文化活動の中心拠点とするため「総合文化センター」として開館し、平成6年には「生涯学習の町」を宣言し、「生涯学習センター」に改称し、生涯学習の総合的なまちづくりを推進してきました。

社会体育施設については、平成9年に平成13年の開催にあわせた第56回国民体育大会サッカー競技（少年の部）のメイン会場である「七ヶ浜サッカースタジアム」が完成し、平成10年には七ヶ浜健康スポーツセンター「アクアリーナ」がオープンしています。これらの施設は、町民のみならず近隣市町からの利用者も多く、好評を得ています。

平成5年には、国際化社会や新たな文化創造活動に対応する施設として「七ヶ浜国際村」がオープンし、県内外からも注目される多彩な事業を展開しています。

国際交流事業として、平成2年に姉妹都市となったアメリカ・マサチューセッツ州プリマスとの間で、中高生を中心とした相互訪問（ホームステイ）等が行われ、平成24年には、平成14年から「海の子山の子」交流を行っている山形県朝日町との間で「友好の町」を締結し、以後は関係団体の交流も盛んになっています。

さらに30回の実績をもつトライアスロン大会は、当町の海と起伏のある地形を活用し、毎年開催される国際的レベルの大会となっています。

神事や伝統芸能として、大根明神祭日、毘沙門堂縁日、笠岩堂縁日、吉田浜獅子舞等が町内の各地に伝わっています。

5 観光のあゆみ

景観に恵まれた本町は、県立自然公園松島に含まれ、その海岸線の多くは特別名勝に指定されています。「東北の湘南」とも呼ばれる菖蒲田海水浴場は、大勢の海水浴客で賑わい、平成29年度には、東日本大震災後初のフルオープンとなりました。

また東北唯一の外国人避暑地の高山地区、国史跡の大木囲貝塚、松島四大観の一つである多聞山、四方が展望でき、桜の名所として華やかな賑わいを見せる君ヶ岡公園などの名所旧跡に恵まれた観光地でもあります。

さらに海辺では、サーフィンを楽しむ若者や釣りを楽しむ姿も多く、季節ごとに沢山の観光客が訪れます。

6 防災のあゆみ

平成23年3月11日の東日本大震災では、本町に大きな被害をもたらし、まちづくりの基盤を根底から一変し、教育施設等も甚大な被害を受けました。

しかし、七ヶ浜町震災復興計画（2011～2020）に基づき、復旧期⇒再生期⇒発展期と、着実な復興を遂げ、2022年からは七ヶ浜町長期総合計画（2022～2031）の「うみ」「ひと」「まち」の基本方針のもと、安全安心なまちづくりに向け、引き続き取り組んでおります。

また、令和4年度に「七ヶ浜町避難計画」と「七ヶ浜町津波ハザードマップ」を全戸配布し、町民の啓蒙を図っています。

A. 七ヶ浜町の概要〈2〉

7 町内地図・案内 「うみ」「ひと」「まち」

う

癒しの空間を共感し
活気を創造していく
心いやされるまち
「七ヶ浜町」を推進します

み



七ヶ浜町





ひ

健幸で生きがいを持ち
 子どものゆめを応援し
 ひとと地域を笑顔でつなぐ
 笑顔あふれるまち
 「七ヶ浜町」を推進します

と

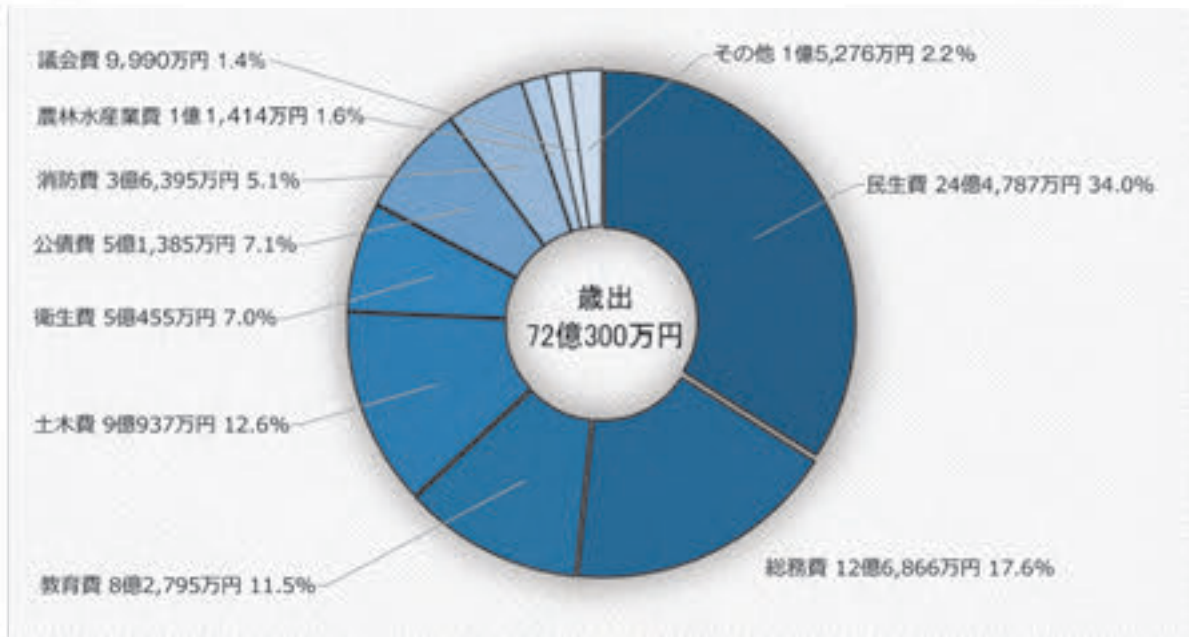
ま

みんなで作る安全安心で
 快適に楽しく暮らせ
 共に築く新たなまちづくり
 を目指す 安心できるまち
 「七ヶ浜町」を推進します

ち

A. 七ヶ浜町の概要〈3〉

8 教育予算比（令和6年度）



9 児童・生徒数（令和6年4月1日）

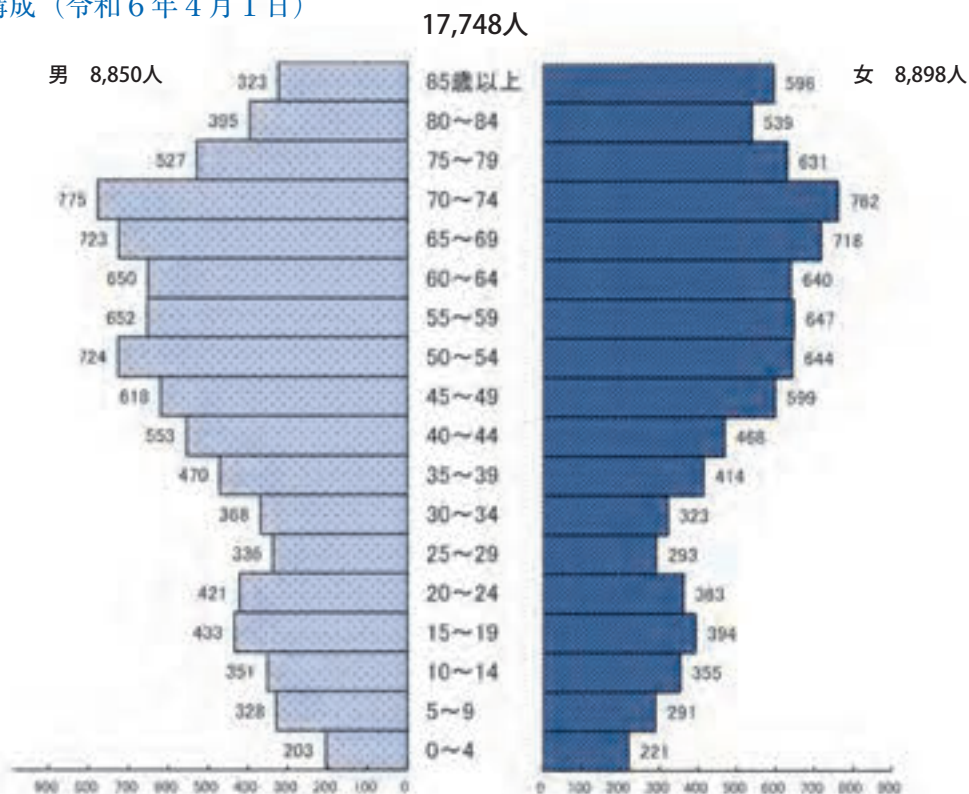
○小学校

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
亦楽小学校	28	38	46	28	38	49	227
松ヶ浜小学校	28	38	27	34	32	36	195
汐見小学校	51	58	53	61	47	62	332
合計	107	134	126	123	117	147	754

○中学校

学校名	1年	2年	3年	合計
七ヶ浜中学校	58	69	67	194
向洋中学校	65	77	79	221
合計	123	146	146	415

10 人口構成（令和6年4月1日）



B. 七ヶ浜町教育基本方針

1 はじめに

世界経済圏のボーダーレス化と新型コロナウイルス感染症が社会に及ぼした心の健康への影響、大国による戦争の長期化が国際情勢悪化の連鎖を引き起こしています。この情報はSNSで瞬時に共有され、世界の人々の経済活動や精神衛生に負の影響をもたらしています。グローバル化した世界の現実と直面している様相です。

七ヶ浜町にとっても無関係な現実ではなく、保護者、児童生徒は東日本大震災後の心の復興途上にありながらこの、保護者の経済生活や子供の学校生活に多大な影響を受けており、情勢の行方に不安を感じています。はからずも、町は「七ヶ浜町長期総合計画2022-2031」において「安心 笑顔 いやされるまち」を将来像に掲げており、知恵と工夫を重ねた取組を推進しています。

2 学校教育

〈1〉学校教育の方針

○安全安心な学校

○厳しさと寛容性のある学校風土と子供の学びづくり

- ①心身ともに健全な児童・生徒の育成。
- ②教職員の資質・能力の向上と学校の活性化。
- ③学校・町・地域が連携した防災教育と地域学習の推進。

〈2〉めざす児童・生徒像

- ①よく考え、自分から学ぼうとする児童・生徒。〈知〉
- ②感謝の気持ちをもつ児童・生徒。〈徳〉
- ③健康でたくましい児童・生徒。〈体〉

〈3〉令和6年度の重点施策・重点事業

◎重点施策「七ヶ浜・グローバルPROJECT」事業の推進

◎重点事業 ①学び方の習得

- ・本時目標の明確化、考える場の設定と展開、振り返りの展開、授業改善シートの活用とICT教育の推進・リテラシーの習得
- ・小学校におけるカリキュラムマネジメントの充実
- ・国語科、算数科、数学科、英語科の基礎的・基本的内容の定着
- ・確かな手ごたえを感じ、数値として見える学力の推進

②不登校・いじめ問題等へのチーム対応

- ・校内の組織対応と関係機関との連携強化
- ・学校教育支援センターの機能強化
- ・スクールソーシャルワーカー活用事業の推進

③英語を通したコミュニケーション力の育成

- ・小学校カリキュラムの作成と英語コミュニケーション授業の精度向上
- ・中学校における七ヶ浜5ラウンドシステムの充実と文法力・語彙力・英語運用能力の育成
- ・英語コミュニケーション活動の日常化の推進
- ・英検による英語コミュニケーション能力向上の見える化の推進

④地域連携

- ・地域学校協働本部をベースにした地域学習の深化
- ・小学校地区民合同大運動会の充実

〈4〉その他の事業

- ①児童・生徒及び教職員の事故防止と安全確保、心理的安全性の保障、メンタルヘルスケア体制づくり
- ②学校・町・地域が連携した教育活動、防災教育等の推進

七ヶ浜町教育大綱並びに

七ヶ浜町長期総合計画

NO	七ヶ浜町教育大綱	
	教育大綱の基本方針 (教育振興基本計画の計画目標)	
1	教育活動の充実を図り、人として心身ともに調和のとれた、世界でも通用する次世代を担う子どもたちを育みます。	<ul style="list-style-type: none"> ①次世代を担う子 ②世界に通用する ③これからの情報 ④いきいきとした ⑤ICT教育や英 ⑥教育環境を保全
2	文化芸術・生涯学習・生涯スポーツ活動を推進し、豊かな心を持ち健幸でいきいきとした活力あるひとを育みます。	<ul style="list-style-type: none"> ①文化芸術に対す ②文化芸術活動を ③豊かな心を育む ④生涯にわたり主 ⑤人間力を高めるベントの充実を図 ⑥地域の文化や歴とともに、文化財 ⑦町の文化・体育
3	町・学校・家庭・地域がともに協力し、みんなで見守り、安心して子育てできる取り組みを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ①子育てしやすい育振興基本計画に ②障害を持つ保護 ③安心できる子育てまれません) ④子どもを産み健 ⑤生活が困窮する
4	地域の人たちと協働で行う交流や体験を通し、相手への思いやりや支え合いの心を育み、地域や社会のために貢献できる人材を育みます。	<ul style="list-style-type: none"> ①地域を大事にし、 ②地域とともに子
5	日常に潜む犯罪や様々な災害から身を守る知識や行動を学び、安全で安心な生活を営むことができるよう、交通安全・防犯・防災教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ①日常に潜む犯罪 ②交通事故に遭わ ③安全で安心な学 ④子どもたちの安
七ヶ浜町教育基本方針		七ヶ浜町教育振興基本計画

教育振興基本計画

並びに教育振興基本計画（令和4～8年度）

教育大綱の基本目標 （教育振興基本計画の施策目標）

子どもを育てるため、基礎的・基本的な学力向上を図り、「考える力」を養います。

子どもを育てるため、英語を通じたコミュニケーション能力の向上を図ります。

化時代に対応するため、ICT教育を推進します。

学校生活を送るため、不登校改善やいじめ問題対策を推進します。

語コミュニケーションの向上を図るため、対応できる教職員を育成します。

するため、学校施設・設備等の計画的な修繕や整備を行います。

る知識や関心を高めるため、国内外の優れた文化芸術に触れる機会を創出し、情操教育を推進します。

行う団体等の継続的発展のための活動支援に取り組み、主体的な活動の活性化を図ります。

ため、異文化に触れる機会の創出や姉妹都市をはじめとする国際交流を推進します。

体的な学習活動を支援するため、町民のニーズに応じた学習機会の提供と内容の充実を図ります。

ため、青少年教育や成人教育などの社会教育事業・社会体育事業を推進し、様々な体験活動や各種イ
ります。

史に対する知識向上と郷土への誇りや愛着の心を醸成するため、地域に残る貴重な文化財を保護する
の積極的な活用を図ります。

施設等を保全するため、施設・設備の計画的な修繕や整備を行います。

環境をつくるため、保育事業や子育て支援事業、放課後児童クラブ事業の推進と充実を図ります。（教
は含まれません）

者や子どもの支援のため、未就学児の療育支援や学校の児童生徒への教育支援を行います。

てのため、妊娠期から子育て期までの包括的・継続的な支援に努めます。（教育振興基本計画には含

やかに育てるため、幼児教育・家庭教育事業を推進します。

世帯を守るため、教育費の負担に対し経済的な支援を行います。

地域のために貢献できる人材を育むため、地域の人たちと協働で行う交流や体験活動を推進します。

子どもを育てるため、地域に開かれた学校を推進します。

や様々な災害から自分の身を守るため、防犯・防災教育を推進します。

ないようにするため、交通安全教育を推進します。

校生活を営むため、学校の防犯・防災対策を推進します。

全・安心のため、町・学校・地域が連携し、交通安全・防犯・防災対策を推進します。

国際村事業協会事業計画

子ども・子育て支援事業計画

七ヶ浜・グローバルPROJECT」(9年次)

- 1 学び方の習得(基礎的・基本的な事項の習熟)
- 2 不登校・いじめ問題等へのチーム対応
- 3 英語を通じたコミュニケーション力の育成
- 4 地域連携(本年度より改編)



4つ活動でのICT活用の日常化と最適化

1 学び方の習得(基礎的・基本的な事項の習熟)

- 1 小学校低学年に「学習不安感」を持たせないよう、基礎的・基本的な事項の習熟に努める。レディネスの把握を丁寧に行う。学習不安感は算数・数学科において最も現れやすい。習熟不足は学びの不安感となって「算数・数学嫌い」の児童生徒の増加を招いていることを認識すること。
- 2 学び方を習得させる。個に応じて学習達成感を育む自学力を身につけさせる。
- 3 「アクティブラーニング」は9年間を通して身につけさせるものとする。
- 4 小学校は、「午前5時間制」(1～5時間目を40分、6時間目を60分等)とする。積極的なカリキュラムマネジメントにより授業時間の弾力性を大幅にもたせる。

2 不登校・いじめ問題等へのチーム対応

- 1 学校、学校教育支援センター、子ども未来課等が連携し、幅広い児童生徒の問題行動に対して未然防止の段階から「チーム対応」を行う。
- 2 学校教育支援センターに通所している児童生徒には、教育機会確保法の主旨に鑑みて学校と連携した学習活動や進路指導を行う。またICT活用により教師や友達との関係の維持やリモート授業等を試みる。
- 3 初期支援に重点を置く。家庭環境を含めたアセスメントをしっかりと行い、不登校の状態に応じた「チーム対応」を行う。保護者との相談活動を必須とし「進路指導の視点」をもった長期的支援を行う。
- 4 本町の不登校は、経済・家族問題の中で捉えることが妥当な実態にある。ただし、文部科学省が不登校の要因を「教師との関係性」の観点から再検討していることに注視し、不登校傾向の児童生徒の心理的安全性について学校環境についてもアセスメントする。

3 英語を通したコミュニケーション力の育成

- 1 自分の頭で考え意見や思いを伝え合う力を、英語をツールとしたコミュニケーション力の育成によって培う。「明るく、楽しく、面白く」の切り口で英語をシャワーのように浴びせ、かつ豊富な発話量を確保する。
- 2 小学校三校は教育課程の特例のもと町独自に構想した「英語コミュニケーション科」(全学年)のさらなる充実を図る。中学校は「七ヶ浜5 ラウンドシステム」の学習方法を工夫し、英語科4領域の運用能力を育成する。
教育課程特例期間が H29 年度～R8 年度と長期にわたっているアドバンテージを活かし小学校段階での活動を一層定着させる。
- 3 小学校の授業はALTがT1、担任がT2とするティームティーチングで行う。
- 4 中学校では、小学校で身につけた関心・意欲の高さを活かした授業づくりに努める。コミュニケーション力に加え、文法力、語彙力等認知能力を鍛える。

4 地域連携

- 1 地域学校協働本部(生涯学習センター内)をベースに、地域の方や職業人等の多様な人材を招き学習活動を展開する。
- 2 地域と学校の連携のもと地域の特色や伝統を調べ、南海トラフ巨大地震による津波等の危機予測に基づいた新ハザードマップを活用するなど防災教育の観点での課題解決的な防災学習に取り組む。
- 3 震災前からの七ヶ浜町の最良の特色である「お互いの顔が見える」地域コミュニティを「小学校地区民合同大運動会」により確認し、学校と地域の関係維持に努める。
- 4 読み聞かせ活動、田植え体験活動、ノリ養殖体験活動等、各学校の取組に地域の資源を活かした体験活動を展開する。
- 5 国際村国際交流員を講師に、他国で働くことについて、小中でのキャリア教育を展開する。また、国際村関連行事への参加を促し、他国文化等に親しむ機会とする。
- 6 震災伝承の取組。国内自然災害復興プロセス学習。

Ex 児童会・生徒会が行った能登半島地震募金活動が、役場派遣職員が被災地で行う活動をどう支えているのかを学ぶ講話「募金は災害復旧でいかに活用されるのか」等

※その他5校共通の取組 文化庁芸術家派遣事業「ダンス」各校3日の取組
学年規模、保護者参加等今後も工夫可能
○主題 心の声を体を言葉にして出し切ろう

- 諸課題に係る資料 -

不登校・いじめ・虐待等

1 不登校

七ヶ浜町出現率 小 3.38/100人 中 9.67/100人 (令和5年2月1日現在)

宮城県出現率 小 1.85/100人 中 7.00/100人 (令和4年度)

小 4.10/100人 中 9.20/100人 (令和5年度暫定推計値)

※本年度出現率は宮城県、本町とも増加している。

特に小学校は県が令和4年度の約2倍、中学校も約1.3倍の増加を推計している。

学校教育支援センター(令和5年2月1日現在)

相談件数 912件(令和5年2月1日現在)

【内訳:保護者 237件 小 249件 中 426件】

ケースワーク等支援児童生徒数(子ども未来課連携も含む)

小 5ケース 中 28ケース 計33ケース(令和5年2月1日現在)

2 いじめ (重大事態想定ケース)

8ケース ・SNSライン 5 死にたい等の危険なサイン 3

いずれも重大事態の未然防止がなされた。未然防止がなされたのは

①「初動」の的確さ。②保護者へのアプローチの速さと深さ。による。

3 小中虐待相談件数

R5 10件 R4 28件 R3 30件 (子ども未来課)

※直近3年で確実に減少している。子ども未来課の所見は以下。

- ① 七ヶ浜町の児童生徒への虐待の種別は大半が心理的虐待。
両親や祖父母間の家庭内不和、面前DVによるもの。
- ② 虐待相談件数が減少に転じたのは、学校や学校教育支援センターとの連携が密に取れており、虐待に至る前に、家族との相談に持ち込むことができるようになった。

4 特別な支援の必要のある児童生徒数

	亦楽小	松ヶ浜小	汐見小	七ヶ浜中	向洋中
特別支援学級在籍数	19	10	19	8	11
通常学級在籍数	25	28	21	30	26
小計	44	38	40	38	37

総計

197

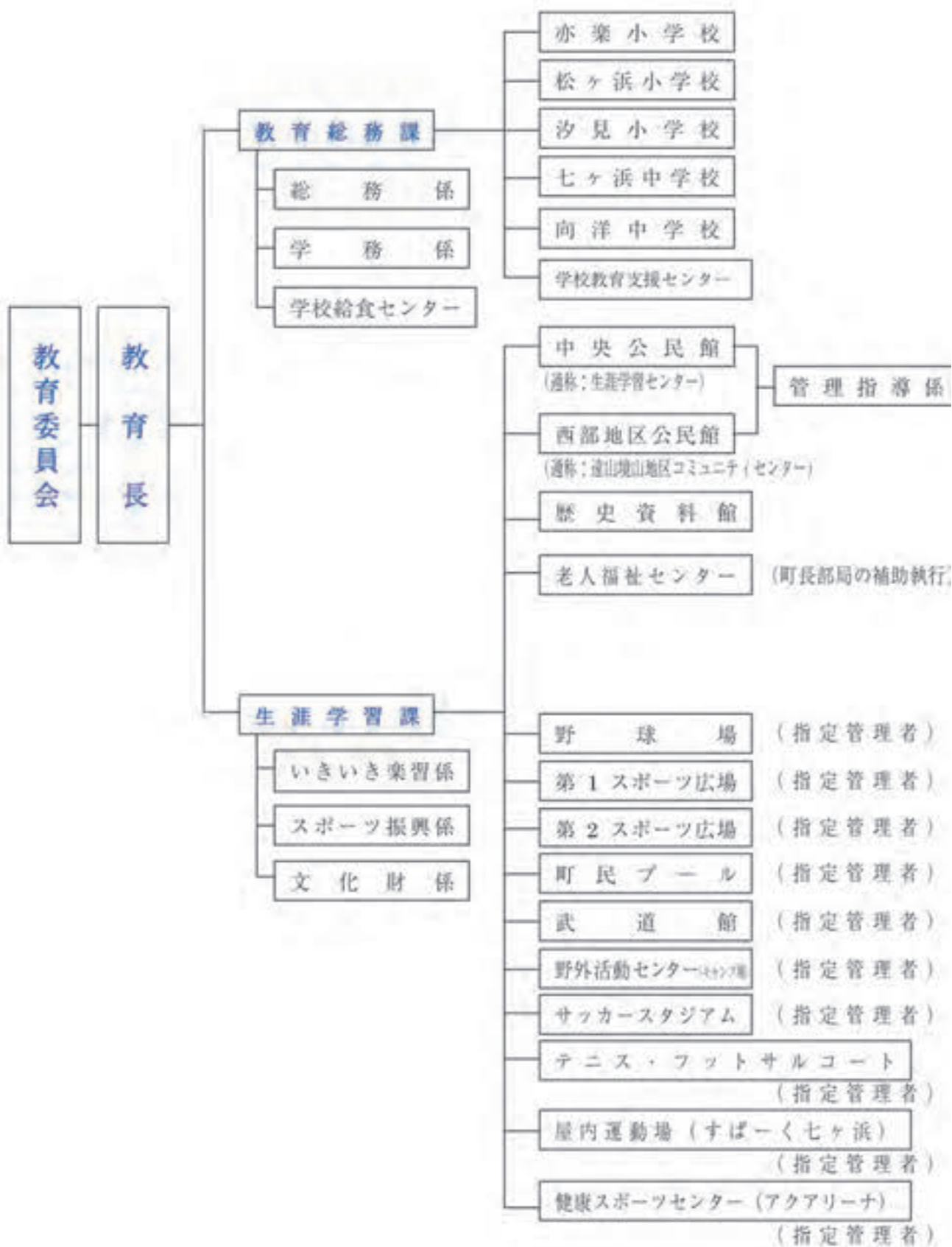
○発達障害と発達障害(的)特性をもつ児童生徒の割合

2022年 文部科学省調査 全国の平均割合 8.8%

2024年 七ヶ浜町の割合 15.2% 全国比 1.7倍

C. 教育委員会事務局組織機構図

(令和6年4月1日現在)



D. 生涯学習のまちづくり

1 基本方針

七ヶ浜町長期総合計画並びに七ヶ浜町教育大綱に基づき、七ヶ浜町長期総合計画の基本目標5の「ひとと地域を笑顔でつなぐまちづくり」を実現するため、5つの重点施策を定め、計画的に生涯学習のまちづくりを推進します。

2 施策の展開

生涯学習のまちづくりを推進するにあたっては、「町民の自立」を念頭に置き、町民が主体的に生涯学習に取り組むための環境整備と、後方支援としての生涯学習センターの役割を踏まえ、定期的な事業の見直しと前例踏襲にとらわれない新たな価値観を尊重した施策を展開します。

3 実施事業の効果検証と更新

事業の実施後は、事業の目的に対する効果を内部検証するほか、教育委員会や社会教育会議の資料として活用し、各委員からの意見などを踏まえ、毎年度更新(ローリング)します。

◎町民憲章〈昭和53年9月3日制定〉

- 健康な心と体をきたえ、勤労をよろこぶ、豊かな町をつくりましょう。
- いたわり合う家庭をつくり、互いに力を合わせて、明るい町をつくりましょう。
- 自然を護り、美しい風土に親しんで、きれいな町をつくりましょう。
- 社会のきまりを守り、よい風習を育てて、住みよい町をつくりましょう。
- 教養を高め、情操を豊かにして、かおり高い文化の町をつくりましょう。

◎『生涯学習の町』宣言〈平成6年3月7日 七ヶ浜町〉

わたしたち七ヶ浜町民は 自らすすんで町民憲章の実現に努め
人間性の向上と人生の豊かさを求めて
地域の連帯を深めながら 生涯にわたって楽しく学び続け
国際性豊かで 生きがいとやすらぎのある 新しいまちづくりを目指し
ここに海遊都市 七ヶ浜町を 『生涯学習の町』とすることを宣言する。

4 生涯学習のまちづくり 計画体系

七ヶ浜町長期総合計画 [2022-2031]

〔基本理念〕 安心 笑顔 心いやされるまち

基本目標	政策目標
5 ひとと地域を笑顔でつなぐまちづくり	11 お互いを思いやり、支え合いながら心かようまちをつくろう
	12 文化芸術・生涯学習やスポーツ活動に親しみ豊かな心を育もう

七ヶ浜町教育大綱 [2022-2026]

基本方針	基本目標
2 文化芸術・生涯学習・生涯スポーツ活動を推進し、豊かな心を持ち健幸でいきいきとした活力あるひとを育みます。	② 文化芸術活動を行う団体等の継続的発展のための活動支援に取り組み、主体的な活動の活性化を図ります。
	④ 生涯にわたり主体的な学習活動を支援するため、町民のニーズに応じた学習機会の提供と内容の充実を図ります。
	⑤ 人間力を高めるため、青少年教育や成人教育などの社会教育事業・社会体育事業を推進し、様々な体験活動や各種イベントの充実を図ります。
	⑥ 地域の文化や歴史に対する知識向上と郷土への誇りや愛着の心を醸成するため、地域に残る貴重な文化財を保護するとともに、文化財の積極的な活用を図ります。
	⑦ 町の文化・体育施設等を保全するため、施設・設備の計画的な修繕や整備を行います。
4 地域の人たちと協働で行う交流や体験を通し、相手への思いやりや支え合いの心を育み、地域や社会のために貢献できる人材を育みます。	① 地域を大事にし、地域のために貢献できる人材を育むため、地域の人たちと協働で行う交流や体験活動を推進します。
	② 地域とともに子どもを育てるため、地域に開かれた学校を推進します。

第7期 七ヶ浜町生涯学習のまちづくり推進5ヶ年計画 [2022-2026] 改訂版

重点施策	長期総合計画との関連	教育大綱との関連
1 文化芸術活動の振興	基本目標 5-12	基本方針 2-②
2 生涯学習機会の充実	基本目標 5-12	基本方針 2-④・⑤
3 歴史の保護・活用・継承	基本目標 5-12	基本方針 2-⑥
4 生涯学習施設の有効活用	基本目標 5-12	基本方針 2-⑦
5 学校・地域との連携	基本目標 5-11	基本方針 4-①・②

5 第7期 七ヶ浜町生涯学習のまちづくり推進5ヶ年計画[2022-2026] 改訂版

重点施策・施策の展開	実施事業
重点施策1 文化芸術活動の振興	
(1)文化芸術活動の充実	①文化芸術活動団体支援事業
重点施策2 生涯学習機会の充実	
(1)生涯学習の推進	①家庭教育事業
	②青少年健全育成事業
	③生涯学習及び社会教育事業
	④DX推進事業
(2)生涯学習団体の育成支援	①各種団体自主事業支援事業
	②各種団体間の交流支援事業
	③サークル移行支援事業
(3)地域横断型スポーツイベントの充実	①生涯スポーツ推進事業
(4)生涯スポーツプログラムの提供	①ニュースポーツ推進事業
(5)図書センター事業の推進	①読書活動推進事業
	②図書センター広報活動事業
重点施策3 歴史の保護・活用・継承	
(1)歴史資料館事業の推進	①文化財保護事業
	②文化財の教育及び普及活用事業
(2)震災の記憶の伝承	①震災伝承事業
重点施策4 生涯学習施設の有効活用	
(1)生涯学習施設の有効活用並びに適切な維持管理	①生涯学習センター事業
	②図書センター事業
	③老人福祉センター事業
	④歴史資料館事業
	⑤体育施設事業
	⑥コミュニティセンター事業
重点施策5 学校・地域との連携	
(1)学校と地域との連携	①地域学校協働活動推進事業
(2)町内・広域連携	①花と緑のまちづくり推進事業
	②生涯学習まちづくり出前セミナー事業
	③地区公民分館活動支援事業
	④友好の町山形県朝日町との交流事業
(3)男女共同参画の推進	①男女共同参画推進事業

E. 教育費予算

	1 報 酬	2 給 料	3 職 員 手 当 等	4 共 済 費	7 報 償 費	8 旅 費	9 交 際 費	10 需用費				
								消 耗 品 費	食 料 費	製 本 費	印 刷 費	需 用 費 の 其 他 の
教育委員会費	776					99						
事務局費	228	31,637	16,747	8,992	126	175	100	183		164	78	
外国語指導助手招致費	7,060			1,279		501					16	
被災児童生徒就学援助費												
学校教育支援事業費	5,323		1,999	1,258		269		48	2			
教育振興基金費												
奨学資金貸付基金費												
小学校学校管理費	20,786		6,386	4,026	230	314		3,367	72	60	25,180	
小学校教育振興費			277		785			6,847		164	600	
中学校学校管理費	9,949		2,904	1,831	146	239		2,781	48	201	18,273	
中学校教育振興費					323			2,895		122	700	
社会教育総務費	4,541	27,428	16,245	9,014		161				208		
公民館費					2,754			1,121	31		13,107	
図書センター費					88				236			
文化財保護費	2,753		1,007	636		196		101			35	
歴史資料館運営費	2,632	3,867	3,956	1,257	42	102		467	1	174	1,390	
保健体育総務費	1,050	16,671	10,934	4,821	351	42		85				
体育施設費												
健康スポーツセンター費												
学校給食費	126	8,116	4,295	2,381		3		454			102,332	
合計	55,329	83,014	61,351	34,474	4,837	2,131	100	18,378	390	1,093	161,711	

男女共同参画費	126					3					
コミュニティ対策費											155
老人福祉センター費					56			65			200

(単位：千円)

11 役 務 費	12 委 託 費	13 賃 借 料 及 使 用 料 及 び	14 工 事 請 負 費	15 原 材 料 費	17 備 品 購 入 費	18 及 負 担 金 補 助 金	19 扶 助 費	23 出 資 金 及 び	24 積 立 金	26 公 課 費	27 繰 出 金	計
												875
1,570	247	96				4,466				15		64,824
36	10,164	1,120				600						20,776
							957					957
132		47										9,078
									3			3
									1			1
2,743	22,595	4,600	4,370	270	989	729						96,717
226	1,223	144			2,390	285	7,555					20,496
1,790	16,533	3,286		200	765	414						59,360
184		245			1,913	2,038	7,552					15,972
						4,826						62,423
801	13,601	1,244	990			1,899						35,548
62	264	1,851			700							3,201
21	6,680					53						11,482
180	1,594	216				360						16,238
80						4,130						38,164
	54,466	110										54,576
132	141,160	42										141,334
449	55,538	353			1,142	735						175,924
8,409	307,319	13,202	5,360	470	7,899	19,651	16,064	0	4	15		801,201

4												133
	55											210
27	60					145						553

F. 小中学校の概要

1



七ヶ浜町立亦楽小学校



〒985-0801 宮城県宮城郡七ヶ浜町代ヶ崎浜字細田54-1 開校年 明治18年 開校記念日5月15日

T E L : 022-357-2521 F A X : 022-357-5035 e-mail : ekiraku_es@shichigahama.ed.jp

～ 特色ある教育活動 ～



防災教育
「防災まち歩き」



七ヶ浜・グローバルPROJECT
「英語コミュニケーション科」



5学年野外活動 「松島自然教室」

校 歌

作詞 大内 素俊
作曲 櫻井悦之助

一 朝な夕なの 千賀の浦
松の緑も うるわしき
学びの窓に いそしみて
正しき道を ふみ行かん

二 はるかに望む 海原や
岸打つ波の たえまなく
つとめはげみてきたえつつ
強き心を やしなわん

三 さくらにかおる 君が岡
千歳かわらぬ 下り松
たがいに清く したしみて
なかよく共に かよわなん

○在籍児童数及び学級編制（令和6年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援 うなばら								計		
							1A	1B	2A	2B	3	5	6				
組	1	1	1	2	1	1	1	2	1A	1B	2A	2B	3	5	6	15	
児童数	男	13	19	12	13	18	20	11	10	3	5	5	4	0	0	0	133
	女	13	14	8	7	9	13	12	12	1	1	0	1	1	1	1	94
	計	26	33	20	20	27	33	23	22	4	6	5	5	1	1	1	227
学年計	26	33	40		27	33	45		23								227

○沿革

代	学校長	年月日	概要	代	学校長	年月日	概要
1	小野清敬	明治18. 4	・代々崎中等小学校創立	33	高橋竹光	12. 4. 1	・22学級, 児童数613
2	館脇豊	23. 5	・代々崎尋常小学校と改称			4~8	・校舎改造・改修
3	小野清敬	23. 11	・七ヶ浜尋常小学校と改称 ・小学校令実施 ・代々崎尋常小学校と改称	34	菅原義一	13. 4. 1	(コンピュータ室, トイレ, 特殊学級教室) ・23学級, 児童数617 ・心をはぐくむ教育活動推進校指定
4	伊藤裕	30. 8				14. 4. 1	・22学級, 児童数591
5	柴原豊吉	32. 11	・花洲, 東宮に出張教場を設置 ・教授訓練の成績優良のため, 知事表彰			15. 4. 1	・23学級, 児童数584
6	渡辺善十郎	41. 5	・現在地に校舎落成	35	高橋弘二	16. 4. 1	◎学力向上フロンティアスクール指定(文部科学省)~16 ・学力向上フロンティアスクール事業, 小・中合同教科研修会授業研究会 ・20学級, 児童数559
7	阿部陽之助	大正 2. 9	・高等科併置認可			11. 18	・2学期制試行
8	真籠良三郎	3. 31 11. 13.	・亦楽尋常小学校と改称 ・学校発布50年式典, 学校園整備 校庭拡張 (22. 53坪)			11. 26	・学力向上フロンティア事業公開研究会
9	菅原新太郎	14. 4	・三教室増築			17. 4. 1	・19学級, 児童数539
10	伊藤藤三郎	昭和 6. 5	・郷土室増築, 教室増築			12. 6	◎福祉教育・ボランティア学習推進協力校指定 (~19) ・ジョイント5自主公開授業研究会
11	佐藤貞治	9. 4	・二宮尊徳像建立 ・校門新設	36	本田晃	18. 4. 1	・2学期制完全施行
12	関口繁	15. 4 16. 4	・亦楽国民学校と改称 ・亦楽父母の会創立			19. 1. 26	・16学級, 児童数489・防災倉庫設置
13	田村顕晃	18. 4				4. 1	・14学級, 児童数433
14	星三郎	20. 5	・六三制実施 ・七ヶ浜村立亦楽小学校と改称	37	岩崎清彦	20. 4. 1	・丸池の整備(花壇に整備)
15	森田三作	22. 4	・井戸, 水道工事施設設置			21. 4. 1	・15学級, 児童数418
16	長田省耕	24. 9	・学校図書館設置			3. 1	・14学級, 児童数364
17	嶺岸亭	28. 4	・校舎の移転増築及び校地全面整備			22. 4. 1	・英語教育に関する調査研究(文科省指定) ・パソコン室改修, 校内LAN整備
18	菅井藤太郎	33. 8	・町制施行により七ヶ浜町立亦楽小学校と改称			11. 26	・14学級, 児童数348
19	堀川勝太郎	37. 4. 1	・各教科, 教材の充実(理療法他) ・図書館の充実	38	遠藤真理子	23. 3. 11	・文部科学省指定研究開発学校(外国語) ・外国語教育公開研究会(中間発表)
20	山崎勉	38. 4. 1	・校舎新設(昭和39. 5~昭和39. 10) ・屋体新設			23. 4. 1	・東日本大震災避難所対応
21	猪股千代助	41. 4. 1	・緑化教育指定校 ・緑化コンクール県特選			23. 4. 1	・15学級, 児童数325
22	佐川貞雄	44. 4. 1	・緑化コンクール県特選・全国入選 ・プール新設(昭和45. 8)	39	今村雅人	24. 4. 1	◎外国語教育公開研究会 ・15学級, 児童数304
23	阿部猛夫	47. 4. 1	・花壇コンクール優良賞 ・東北音研授業公開			25. 2. 18	・さくら児童館(校舎内改修移設)
24	相沢一義	49. 4. 1	・創立90周年記念式典(90年誌の発行)			25. 4. 1	・職員玄関改修・砂場設置
25	木村清二	51. 8 52. 3 55. 3	・体育館暗幕整備 ・校舎無人セット設備 ・汐見小学校と分離			26. 4. 1	・15学級, 児童数274
26	佐々木一男	55. 4. 1 56. 9 10 59. 3. 3 5	・視聴覚室完成 ・暖房用ボイラー設置 ・遊具贈呈式(遠藤善蔵氏) ・百周年記念式典 ・校旗制定	40	須藤清	27. 2. 27	・聴覚障害学級設置
27	横田宗幸	59. 10. 1 60. 3. 14 9. 3 61. 10. 24	◎体育活動推進校指定(県教委) ・旧校舎解体, 運動場改修工事竣工 ・体育活動推進指定公開研究会			27. 4. 1	・太陽光発電システム設置
28	今泉武男	63. 4. 1 7	・校舎大規模改修工事			27. 4. 1	・15学級, 児童数268
29	三品堯明	平成元. 4. 1 6 元. 7~8	・19学級, 児童数568 ・プール内面塗装 ・屋内運動場大規模改修工事			28. 1. 6	・七ヶ浜町学校事務共同実施開始
30	山口武	2. 4. 1 3. 4. 1 4. 4. 1 7. 13	・19学級, 児童数556 ・18学級, 児童数560 ・19学級, 児童数567 ・少年消防クラブ結成			28. 3. 19	・プール改築工事着工(亦小・七中共用)
31	江畑子朗	5. 4. 1 6. 4. 1	・19学級 児童数553 ・19学級 児童数556 ・プレハブ2教室増設 ・学校保健統計調査実施校	41	吾孫子修	28. 4. 1	・防災科学技術研究所「防災マップ 特別優秀賞受賞
		7. 4. 1 5. 1 6. 1 8. 18	・19学級, 児童数531 ◎性教育モデル推進校指定(県健康教育課) ・プール内面塗装完了 ・1階床貼り替え工事完了			28. 4. 1	・15学級, 児童数275
32	芦立良喜	8. 4. 1 9. 4. 1	・17学級, 児童数557 ・19学級, 児童数570			12. 21	◎文科省教育課程特例校指定(英語コミュニケーション) ・15学級, 児童数272
33	高橋竹光	10. 4. 1 11. 4. 1	◎性教育モデル推進校指定(県健康教育課) ・21学級 児童数580 ・20学級 児童数590 ・ボランティア活動普及事業協力校指定(~12)			29. 4. 1	・英語コミュニケーション科県公開授業研究会 ・15学級, 児童数272
						5. 28	・英語コミュニケーション本格実施
						10. 6	・第1回亦楽小・地区民合同大運動会
						30. 4. 1	・児童用トイレ洋式化
						9. 1	・14学級, 児童数251
						9. 1	・宮城県9.1総合防災訓練(第一エリア)
						12. 17	・プール解体工事(~31. 3. 31)
						31. 4. 1	・15学級, 児童数249
						元 5. 1	・病弱学級, 弱視学級開設
						5. 7	「平成」から「令和」に元号改称
						6. 6	・4年生転入により2学級編成, 全16学級
						7. 8	・空調設備(エアコン)設置工事着工(~7/7)
						8. 5	・文部科学省視学官視察(英語コミュニケーション)
						2. 3. 4	・プール跡地環境整備工事着工(~R2. 2. 29)
						4. 1	・ダムウェーター改修工事着工(~8/9)
						4. 8~	・臨時休業(~3/24) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
						4. 17	・14学級, 児童数253
						7. 21	・臨時休業(~5/31) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため
						7. 31	・体育館ステージ幕交換 ※社の都合により
						8. 30	・臨時授業日(~7/31) ※夏季休業日
						3. 3. 13	・体育館外トイレ改修工事着工
						3. 2	・情報ネットワーク環境整備工事着工
						4. 1	・ELEC英語教育賞(文部科学大臣賞)受賞
						4. 1	・少年消防クラブ表彰(総務大臣賞)
						11. 11	・13学級, 児童数233名
						4. 2. 24	・英語コミュニケーション科県公開授業研究会
						4. 4. 1	・2~3学年閉鎖(~25日) 新型コロナ感染拡大防止
						4. 11. 26	・14学級, 240名
						5. 4. 1	・道徳教育宮城県大会
						6. 1. 1	・14学級, 233名
						6. 4. 1	・空気清浄機設置(8台)
						6. 4. 1	・15学級, 227名

1 学校教育目標 心身ともに健康で楽しく学ぶ子供の育成

(1) めざす児童像・行動像「失敗できる子供：失敗体験を次に進むチャンスと捉えることができる子供」

- ① よく考え楽しく学ぼうとする子供 ② 明るく思いやりのある子供 ③ しなやかでたくましい子供
- ・自ら考え、友達と考え合い、表現できる
 - ・相手の目を見て、自分からあいさつすることができる
 - ・健康と安全を心がける
 - ・課題解決過程で試行錯誤できる
 - ・失敗した友達を励ますことができる
 - ・進んで運動することができる
 - ・ねばり強く最後までやり抜こうとする

(2) めざす学級集団像

お互いが間違いや失敗へのフォローシップを働かせ、それを成長のチャンスとできる集団

- ① 一生懸命学び合う学級集団 ② 規範意識が高く規律ある学級集団
③ いじめを絶対に許さない学級集団 ④ 共感し合い協働し合う学級集団

2 学校経営方針

- (1) 「安心・安全な学校」がすべての教育活動の礎になることを踏まえ、教職員一人一人が最優先事項として行動する。
- (2) 子供が集中して学びに向かうことができる諸環境の整備に努めるとともに、世界規模で変化し続ける予測困難な時代を生き抜く力を育むため、「七ヶ浜・グローバルPROJECT～世界を見据えて地域に根差す～」の具現化を目指す。
- (3) 「主体的・対話的で深い学び」を保障する場所として、児童も教師も安心して学び合える環境を目指し、「厳しさや寛容性のある学校風土」づくりに努める。
- (4) 七ヶ浜町の自然、伝統、文化を大切に、地域と一体となった教育活動を推進しながら「開かれた学校づくり」に努め、家庭、地域から信頼される学校を目指す。

3 学校教育目標を達成するための重点施策

(1) 七ヶ浜・グローバルPROJECT 9年目の取組の充実

- ① 学び方の習得と基礎的・基本的な事項の習得
- ア 基礎的・基本的な事項の習得（低学年に「学習不安感」を持たせない）
 - イ 児童が達成感を感じられる「つかむ、見通す、考える、振り返る」指導を大切に授業づくり
 - ウ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 エ ICTの基本操作の習熟、目的に応じた活用
- ② 不登校・いじめ問題へのチーム対応
- ア チーム対応の重視
 - イ 通所児童、個別指導児童への適切な学習指導、学習支援
 - ウ 初期支援に重点を置いた対応
 - エ ICT活用による学級・学校や友達との関係維持
- ③ 英語を通したコミュニケーション力の育成
- ア 自分の考えや気持ちを伝えあう力の育成
 - イ 「明るく楽しく面白く」のさらなるレベルアップ
 - ウ 「書くこと」「読むこと」における基礎的な力の育成
- ④ 地域連携
- ア 町生涯学習課、地域コーディネーターとの連携
 - イ 地域や関係機関と連携した防災教育
 - ウ 学校、保護者、地域の連携による地区民合同大運動会の開催

(2) カリキュラムマネジメント

- ・40分午前5時間制の効果的活用

(3) 教育活動全体を通したインクルーシブ教育の展開

(4) 防災・安全教育・いじめ未然防止教育の充実

(5) 正しい知識と認識を促す性教育・ゲーム及びSNS依存症防止教育の推進

4 特色ある教育活動等（七ヶ浜・グローバルPROJECT－世界を見据えて地域に根ざす－の推進）

(1) 学び方の習得

校内研究の主題を「子供も教師も学び上手な学校をめざして～個別最適・協働的な学びの創造～」とし、「明るく楽しく面白く」児童が手応えを実感できる授業づくりに取り組む。

(2) 不登校・いじめ問題へのチーム対応

学校、学校教育支援センター、子ども未来課等が連携し、幅広い児童の課題に対して未然防止段階からチーム対応を行う。児童会活動や縦割り活動、挨拶の声掛けを通して思いやりの気持ちを育む。

(3) 英語を通したコミュニケーション力の育成

全学年で、担任とALTのTTによる授業づくりを行い、授業公開を行う。英語をシャワーのように浴びせ、かつ豊富な発話量を確保して「明るく楽しく面白い」授業を目指す。ALTに対する同僚性を大切にする。

(4) 地域学校協働活動

学習支援ボランティア（書写、家庭科等）、読み聞かせボランティア、登下校の見守りボランティア等の活用を図る。5学年の総合的な学習の時間では地域ボランティアと地域の危険箇所を学ぶ防災学習「防災まち歩き」を実施する。亦楽小学区9地区との合同運動会を企画し、学校と地域の交流を推進し、地域全体の中で子供を育む機運を醸成する。

○年間行事予定

月	主 な 学 校 行 事 等
4	第1学期始業式, 入学式, 避難訓練(地震), 交通安全教室, 学習参観・懇談会, 1年生を迎える会, 家庭訪問
5	家庭訪問, 避難訓練・引渡訓練, 開校記念日, PTA奉仕作業, 地区民合同大運動会
6	交通安全教室, 防犯教室, 児童総会(前期), 学校評議員会, 遠足(4年)
7	不審者対応避難訓練, 集団下校訓練, 指導主事学校訪問, 学習参観・懇談会, 教育相談, 学校保健委員会, 避難所開設訓練
8	えきらく委員会, PTA奉仕作業
9	修学旅行(6年), 松島自然教室(5年), 集団下校訓練, 遠足(1~3年), 個別面談
10	第1学期終業式, 第2学期始業式, 就学時健康診断
11	防災スタディ(5年), 避難訓練(火災), 学習発表会, 芸術鑑賞教室
12	
1	幼保小連絡会, 新入学児童保護者説明会
2	ボランティア感謝の会, 学校評議員会, 学習参観・懇談会, 児童総会(後期)
3	6年生を送る会, 卒業式, 修了式, 離任式

○教職員等構成

◎: 学年主任

	職 名	氏 名	担 任 等	校 務 分 掌		
1	校 長	伊 藤 ひろみ		○学校経営 ○学校CIO		
2	教 頭	大 場 陽 子		○渉外 ○施設管理 ○PTA		
3	主幹教諭	針 生 武 宏	(安全担当)	○いじめ・不登校対策担当者 ○地域連携		
4	教 諭	徳 田 修	教務主任	○教育課程 ○学籍 ○儀式的行事		
5	教 諭	二ツ森 進	◎1年1組	○生徒指導主任 ○幼保小連携		
6	教 諭	佐 藤 亮 太	◎2年1組	○体育主任 ○情報化推進リーダー		
7	教 諭	櫻 井 美貴子	◎3年1組	○文化的行事 ○志教育担当教諭		
8	教 諭	越後屋 椋	3年2組	環境緑化教育 視聴覚		
9	教 諭	小 松 智 也	◎4年1組	○安全教育主任 体育副主任		
10	教 諭	大 場 舞	◎5年1組	○道徳教育推進教師 ○縦割り活動		
11	教 諭	清 野 弘 平	◎6年1組	○研究主任 ○進路・キャリア教育		
12	教 諭	宇和野 美 咲	6年2組	○英語コミュニケーション科主任 ○児童会		
13	教 諭	松 本 徹 朗	うなばら1組A	○クラブ活動 ○町スポーツ推進委員		
14	教 諭	中 嶋 紀 恵	うなばら1組B	○図書館教育 ○特支副主任		
15	教 諭	瀬戸口 眸	うなばら2組A	○特別支援教育コーディネーター ○勤労生産の行事		
16	教 諭	佐 藤 晃 子	うなばら2組B	○防災主任 ○国語主任		
17	講 師	山 下 葉 子	うなばら3組	○福祉教育 ○図画工作主任		
18	教 諭	高 野 久美子	うなばら5組	○給食主任 ○音楽主任		
19	教 諭	小野垣 圭 恵	うなばら6組	○保健主事 ○教科書担当		
20	教 諭	後 藤 善 史		○初任研拠点校指導員		
21	教 諭	根 岸 理恵子	◎通級担当	○特支主任		
22	教 諭	門 田 仁	通級担当	○町教研 ○揭示教育		
23	教 諭	河原田 千 春	教科担任	○副教務 ○副防災主任 ○出席簿		
24	養護教諭	谷 地 晶 子		○学校保健 ○各種健康診断全般		
25	栄養教諭	千 徳 順 子		○給食全般 ○食育指導		
26	栄養教諭	伊 丹 夕 貴		○給食全般 ○食育指導		
27	総括主幹兼事務長	阿 部 豪		○学校事務全般		
28	教 諭	文 屋 紀 子		産休		
29	非常勤講師	岡 本 律 子		○初任研後補充		
30	非常勤講師	佐々木 敦 子		○日本語指導		
31	特別支援教育支援員	高 田 恵美子		○児童支援補助		
32	特別支援教育支援員	高 橋 由 利		○児童支援補助		
33	特別支援教育支援員	岩 田 順 子		○児童支援補助		
34	特別支援教育支援員	石 垣 聖 子		○児童支援補助		
35	図書事務補助	笹 間 とも子		○図書館管理		
36	スクールカウンセラー	津 田 いずみ		○教育相談		
学校医	管理校医	鹿 島 哲	耳鼻科校医	大 井 聖 幸	眼科校医	渡 辺 誠 一
	歯科校医	梅 津 謹 也	薬剤師	根 本 一 郎		



七ヶ浜町立 松ヶ浜小学校

〒985-0812 宮城県宮城郡七ヶ浜町松ヶ浜字神明裏 52
TEL 022-357-2211 FAX 022-357-5025



開校年 明治6年・開校記念日 7月15日
児童数 195名・PTA会員数 154名



校歌碑



校舎屋上から仙台湾を望む

特色ある教育活動



英語コミュニケーション科



松小太鼓

校歌

作曲 渡辺波光
作詞 中山晋平

一、 波よせおかせず 東海のふかみどり
 二、 磯馴れ松のとりどりに
 三、 さまは変れど 変らざる
 四、 ここに自治あり 理想あり
 五、 誼訪の社の 春の日の
 六、 鳩に三枝の 礼儀あり
 七、 ましてや我が 人として
 八、 この学び舎に 学び得て
 九、 藩祖の君の やかたあと
 十、 月うるわしき 御殿崎
 十一、 眺望崎の その名さえ
 十二、 末長浜の とこしえに
 十三、 月去り星は うつろえど
 十四、 松のみのりの いやましに
 十五、 我が師のめぐみ 天然の
 十六、 めぐみも深し 我が母校

○在籍児童数及び学級編制（令和6年6月1日現在）

学年	1		2		3	4	5	6	特別支援学級			計
	組	1	1	2	1	1	1	1	はまかぜ	はまぎく	はまゆり	
児童数	男	14	13	13	16	13	14	15	4	3	0	105
	女	11	5	5	10	19	17	20	2	0	1	90
計		25	18	18	26	32	31	35	6	3	1	195

○ 学校経営の基本方針

七ヶ浜町教育基本方針及び七ヶ浜・グローバルPROJECT、宮城県教育基本方針、日本国憲法及び教育基本法他関係諸法規に則り、次の4点から学校経営を推進する。

- (1) 学級づくりを中心とした豊かな人間関係づくりを核として、一人一人の子どもにとって安心・安全な居場所づくりと環境整備を進める。
- (2) 午前5時間制・40分授業実施（5年目）の取組を通してカリキュラムマネジメントを推進し計画的かつ組織的に教育活動の質の向上を図る。
- (3) 教師としての専門性を高めるため、研鑽に励むとともに、自らの役割を自覚し、子どものよりよい変容を目指した協働体制を確立する。
- (4) 地域と共に歩む「開かれた学校」づくりを目指し、家庭・地域と学校が協働した教育活動を推進することで、学校経営の機能を強化する。

1 学校教育目標

「よく考え、心豊かに、たくましく生きる子どもを育成する。」

2 目指す子ども像

- 進んで学ぶ子ども・・・自分の考えを持ち、表現し学び合う。
- 仲良く助け合う子ども・・・人やものを大切にする。
- 健康で明るい子ども・・・めあてを持って、安全に健康に生活する。

3 目指す学校像

(1)学び合いのある学校 (2)健康で安心・安全な学校 (3)保護者や地域から信頼される学校

4 目指す職員像

- 自ら学び続け、子どもの学びを引き出し、主体的な学びを支援する教職員
- 多様なスタッフとチームとなり、家庭や地域との連携を図りながら学校を運営しようとする教職員
- 士気を高め、誇りを持って職務を遂行する教職員

5 重点努力施策

- (1)子どもにとって安心・安全な居場所づくり
 - 安心・安全な学級づくり ○志教育の視点による自己肯定感・有用感の醸成
 - 気持ちのよい挨拶と返事による関わる力の育成
 - 道徳、特別活動、各教科及び関連行事の関連付け
 - たてわり活動の推進 ○いじめ問題対策・不登校支援のためのチーム対応
 - 適時性のあるケース会議
- (2)子どもにとって安心・安全な環境整備
 - 歴史ある美しい校内環境の整美 ○施設設備の安全管理の徹底 ○交通安全教室の実施
 - 各種避難訓練の実施 ○学区内安全点検
- (3)確かな学力の育成
 - 午前5時間制・40分授業実施（5年目）の取組
 - ねらいの明確化、考える授業の保障、振り返りの確実な実施
 - 「見方・考え方」についての言語活動を取り入れた授業づくり
 - 学習タイムにおける多様な問題解決や体験活動の設定
 - 教科担任制による指導の充実 ○読書活動の推進 ○ICTリテラシーの育成
 - 授業づくりを支える系統的・継続的な取組（「松ヶ浜小学習スタンダード」等）
 - 家庭学習習慣の定着（「松ヶ浜小ステップアップ10」及び「家庭学習の手引き」等）
- (4)コミュニケーション力の育成
 - 思いやって聞いたり話したりする力の育成 ○英語コミュニケーション科の実践
 - 英語コミュニケーションの日常化
- (5)健やかな体の育成
 - 遊びと体力づくりを結び付けた取組の工夫
 - 学級活動や保健教育による「命を大切にする教育」の推進
 - 給食センターと連携した食の指導 ○メディアコントロールの推進
- (6)特別支援教育の充実
 - 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内体制づくり
 - 通級指導を活用した通常学級在籍児童への指導・実践
 - 個別の指導計画・支援計画を活用した保護者・地域との連携（「あすなるパスポート」の活用）
- (7)地域との連携・協働
 - 保護者との密な情報交換 ○積極的な情報発信（学校だより、学校HP等）
 - 一斉メールの活用
 - 幼保小中連携 ○地区民との合同運動会の実施 ○地域の教育資源の発掘と協働教育実践
 - 地域との協働による防災教育
- (8)チームによる学校づくりと業務の適正化
 - 学年部組織による指導体制の強化（7学年部を含めた組織体制）
 - 3チーム制（学び・心・体）の校務分掌組織による協働体制の推進
 - 教職員の資質能力の向上を目指した研修の充実
 - 業務の適正化の視点による業務精選・改善の取組

○沿革

明6	7月 養松院に松ヶ浜小学校創設	7	ボランティア活動普及事業協力校
18	5月 松ヶ浜神明前に校舎新築・松ヶ浜中等小学校と称する		交通安全優良学校表彰(県警察本部長・県交通協会長)
大8	4教室増築(9学級)		交通安全教育推進校表彰(東北管区警察局長・東北交通安全協会長)
15	校地拡張地ならし		通路屋根塗装工事 放送機器改修
昭元	校歌制定	8	浜清掃に対し「海の日」制定記念式典で運輸省第二港湾建設局長より表彰
2	校舎増築(3教室)	9	浜清掃に対し運輸大臣より表彰 山源工務店より花壇寄贈
11	校舎改築 配置替え(12学級)	10	木造校舎解体(お別れ会実施)
13	校旗制定	11	木造新校舎落成(H12.2.13落成披露式) 心を育む教育活動
16	松ヶ浜国民学校と改称(12学級)	12	コンピュータ22台導入
22	七ヶ浜村立松ヶ浜小学校と改称	13	愛鳥モデル推進校県指定(2年間) 宮城国体サッカーなど関連行事参加(炬火リレー等)
24	校章制定	14	プール補修・塗装 屋上防水・改修工事 ボランティア活動普及事業協力校
27	七ヶ浜村教育委員会発足(15学級)	15	校庭外側柵工事 学力向上フロンティア事業研究指定(2年間)
28	校舎増築 配置替え 裏校庭整備	16	2学期制試行 校長室内装工事 給食配膳室設置 学力向上フロンティア事業公開研究会
29	校舎落成記念式典	17	学校名表札設置
33	校舎増築(旧二校舎解体 5教室増)	18	2学期制実施 防犯カメラ設置 特別支援教育体制推進事業研究指定(文)(2年間)
34	1月 町制施行	20	全国学力・学習状況調査等を活用した学校改善推進実践研究
38	開校90周年記念式典 体育館落成 簡易水道工事 国旗掲揚塔設置	21	屋内運動場改築落成 英語教育改善のための調査研究事業(文) 発達段階に応じたキャリア教育支援事業(文) 学校支援地域本部事業(文) 特別支援教育推進事業(県)
40	鉄筋校舎落成(工費5,800万円)	22	研究開発学校(外国語教育・2年間)(文) 研究開発学校中間発表(於 汐見小) 屋内運動場改築 東日本大震災に対応して避難所設置(36日間)
43	完全給食実施	23	新通学路指定(津波の影響) スクールカウンセラー配置 研究開発学校公開研究会(於 汐見小) 本校倉庫補修工事
45	プール落成 音楽教育研究指定(県)	24	校庭南側塀壁工事 校舎東向いに備蓄倉庫建設
46	観察池設置 校庭グリーンベルト達成	25	はまかぜ見守り隊発足 開校140周年記念誌発行
47	学校環境緑化コンクール参加 音楽発表会参加(奨励賞) スチーム暖房設置	26	県NIE実践指定校 体育館に非常用電話設置 屋上に太陽光発電パネル装置設置
48	開校100周年記念式典(記念碑建立) 緑化コンクール参加	27	県NIE実践指定校 外部非常階段撤去(音楽室) 校庭ブランコ安全柵設置
53	視聴覚機器整備	28	グローバルプロジェクト始動、文科省より教育課程特例校認可 英語コミュニケーション授業試行・教育課程特区指定 保健室エアコン設置 校務システム導入
54	体育施設 遊具、観察園整備	29	トイレ改修工事 屋上防水工事 第1回地区民合同大運動会実施
56	非常階段設置 視聴覚室設置 視聴覚機器整備(町費:700万円) 登棒設置	30	優良少年防火クラブ表彰 創立145周年記念コンサート 全国緑化コンクール表彰
57	開校110周年記念式典(記念誌発刊) 金銭教育研究校(2年間) グランドピアノ寄贈(渡辺幸一氏) 陳列棚寄贈(渡辺栄八氏)	31	エアコン全教室設置工事完了 BS-TBS「校歌を訪ねて」出演 臨時休業(3月・新型コロナウイルス感染防止のため)
60	「金銭教育研究校」として県貯蓄推進委員会より感謝状	令2	臨時休業(4~5月・新型コロナウイルス感染防止のため)
61	浜清掃奉仕活動に、宮城県知事より感謝の楯 校庭 鉄筋校舎床全面改修工事	令3	英語コミュニケーション公開授業研修会 少年消防クラブ総務大臣表彰 タブレット導入
62	鉄筋校舎 屋内体育館改修	令4	きずなFプロジェクト震災総合学習 校内無線LAN 環境整備
63	浜清掃奉仕活動に対して「松島湾をきれいにする会」より表彰	令5	開校150周年記念コンサート 文化芸術鑑賞事業 新校務PC導入
平元	プール補修・全面塗装 校章を校舎外壁に設置 校木を「松」に制定		
2	体育倉庫設置 外部下水道全面改修		
3	体育館屋根全面改修		
4	「海の祭典」で県知事より表彰状と記念品授与(海浜清掃) 児童会旗、児童会の歌制定		
5	創立120周年記念式典(記念誌発刊) 記念事業として和太鼓寄贈される 「和太鼓クラブ」創設(“松小太鼓”完成)		
6	教育相談実践協力校(宮城県教育研修センター) 北側の桜の木移転 石垣の改修工事		

○年間行事予定

月	主な学校行事
4	第1学期始業式 入学式 学習参観 居住地確認 交通安全教室
5	1年生を迎える会 引き渡し訓練 運動会 集団下校訓練 避難訓練（不審者）
6	体力・運動能力テスト プール開始 避難訓練（地震・津波） 松島野外活動（5年）
7	学習参観 開校記念日 夏季休業日（20～8/25） 教育面談 プール終了（夏休み前）
8	
9	校外学習（2, 3, 4年）
10	修学旅行（6年） 第1学期終業式 秋季休業日（15～16） 第2学期始業式 校外学習（1, 5年）
11	音楽アウトリーチ 学習発表会 避難訓練（火災） はまかせ祭り
12	冬季休業日（24～1/7）
1	
2	新入学児童保護者説明会・一日入学 幼保小連絡会 学習参観 6年生を送る会
3	卒業式 修了式 離任式

○教職員名簿

No	職名	氏名	担任等	主な校務分掌
1	校長	土生直樹		校務全般管理 学校C I O
2	教頭	川股剛		校務全般 P T A事務長 5年社会科専科
3	主幹教諭	折居晃弘	教務主任	教育課程 学籍 地域連携担当 6年社会科専科
4	教諭	萩原恵理子	1の1	給食主任 図工科 ふるさと教育
5	教諭	鈴木洋	2の1	防災主任 体育科 健康安全的行事
6	教諭	佐藤枝里香	2の2	安全主任 音楽科 環境・緑化教育
7	教諭	長澤亜紀子	3の1	研究主任 総合的な活動の時間 特別活動
8	教諭	文屋優友	4の1	情報教育 英語コミュニケーション科 国際理解教育
9	教諭	原田真紀子	高学年部主任	専科指導（3～6年社会・理科） いじめ対策・不登校支援
10	教諭	渡邊結友	5の1	道徳科 家庭科 児童会活動 勤労生産・奉仕的活動
11	教諭	齋藤和馬	6の1	志教育 算数 代表委員会 たてわり活動
12	教諭	齋藤美穂	はまかせ	特別支援教育コーディネーター 生活科 福祉・人権
13	教諭	岸美瑞保	はまぎく	生徒指導主任 学級活動 教科書
14	教諭	板橋瑞枝	はまゆり	保健主事 文化的行事 国語科
15	講師	菅原尚明	通級指導	図書館教育 クラブ 遠足・集団宿泊の行事
16	養護教諭	中島京子		学校保健 教育相談 S C・S S W
17	主事	佐々木優香		学校事務
18	教諭	當舍聖美		（産休）
19	会計年度任用職員	星由美子		特別支援教育等支援員
20	会計年度任用職員	角谷綾華		特別支援教育等支援員
21	会計年度任用職員	小関富也		特別支援教育等支援員
22	会計年度任用職員	笹間とも子		学校事務補助（図書事務等）
23	S C	藤井珠央		
24	A L T	Marlar Camelon		英語コミュニケーション科
25	A L T	Kevin Alexander		英語コミュニケーション科
26	A L T	Prabhvir Viridi		英語コミュニケーション科
校医	管理校医・藤原里美	歯科・山本和行	眼科・渡辺誠一	耳鼻科・大井聖幸 薬剤師・西村大資



七ヶ浜町立汐見小学校



開校年 昭和55年 開校記念日 7月6日
 〒985-0821 宮城県宮城郡七ヶ浜町汐見台三丁目1番地の3 mail: siomi_es@shichigahama.ed.jp
 TEL: 022-357-5151 FAX: 022-357-5711 HP: https://shichigahamasioimi-es.edumap.jp

特色ある教育活動



地域学校協働活動（5学年田植え）



英語コミュニケーション



地区民合同大運動会 地区種目（玉入れ）

三	二	一	<h2 style="margin: 0;">校歌</h2> <p style="margin: 0;">作詞 松村孔太郎 補作 橋浦兵一 作曲 本間雅夫</p>
黒松つよく みどり濃く 道に木もれ陽 はまぎくの 花はしずかに 香りくる わが学び舎よ 汐見小 ゆくてさやかに 拓きゆけ	貝塚はるか 縄文の 丘の昔を しのおとき おもいあらたな 空の青 わが学び舎よ 汐見小 誇りゆかしく 進みゆけ	阿川の水面 七ヶ浜 遠くかがやく 海原を こころすがしく 渡る風 わが学び舎よ 汐見小 望みゆたかに 歩みゆけ	

○在籍児童数及び学級編成（令和6年5月1日現在）

学年	1年		2年		3年		4年		5年		6年		特別支援					合計	
学級	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	たんぼぼ1	たんぼぼ2	どんぐり	なかよし	あおぞら	17	
児童数	男	8	9	12	12	15	15	15	14	12	12	14	13	3	7	4	0	1	166
	女	15	14	15	15	11	11	15	16	9	10	16	16	2	0	0	1	0	166
	計	23	23	27	27	26	26	30	30	21	22	30	29	5	7	4	1	1	332
計	46		54		52		60		43		59		18					332	

○年間行事予定

月	主 な 学 校 行 事 等		主 な 学 校 行 事 等
4	入学式、学習参観、居所確認訪問、1年生を迎える会	10	第1学期終業式、第2学期始業式
5	P T A除草作業、地区民合同大運動会、引き渡し訓練	11	学習発表会
6	スポーツテスト、プール清掃	12	感謝の会
7	はだしっ子祭り（フリー参観）、教育相談	1	学校評価会議
8		2	学習参観、一日入学・保護者説明会、教育相談
9	松島自然教室（5年）、修学旅行（6年）	3	6年生を送る会、卒業式、修了式

○沿 革

年 月 日	学 校 長	概 要	年 月 日	学 校 長	概 要
昭和 54.4 昭和 54.7.6		学区決定 校名決定（七ヶ浜町立汐見小学校） 校地在所地番決定（七ヶ浜町菖蒲田浜字野山8の1）	平成 17.4.1 平成 17.5.1 平成 17.9.1 平成 18.5.1	八重樫良信 (H17.4~19.3)	22 学級、児童数 584 名 体育館アスベスト除去工事 22 学級、児童数 568 名
昭和 55.4.7	安部 英輔 (S55.4~58.3)	七ヶ浜町立汐見小学校開校 (学級数 12、児童数 455 名)	平成 19.4.1 平成 19.5.1 平成 20.5.1 平成 21.4.1	山中 晴夫 (H19.4~21.3)	23 学級、児童数 579 名 21 学級、児童数 557 名
昭和 55.7.25 昭和 56.2.17 昭和 56.4.1		プール完成、プール開き 体育館竣工 地番整備により本校在所地番変更 (七ヶ浜町汐見台三丁目1番地)		鈴木 隆正 (H21.4~24.3)	英語教育改善のための調査 研究指定（文科省） 22 学級、児童数 531 名
昭和 56.4.7		校舎・体育館・プール落成 記念式典、校歌制定披露	平成 21.5.1 平成 21.7.4 平成 22.3.31 平成 22.4.1		開校 30 周年記念式典 プール改修工事 教育研究開発学校（外国語） 指定（文科省）
昭和 57.3.30 昭和 57.5.20 昭和 58.4.1 昭和 58.4.6 昭和 58.5.1 昭和 58.8.27 昭和 59.3.10 昭和 59.5.1 昭和 59.9.1 昭和 59.11.13	鈴木 直一 (S58.4~60.3)	校舎裏土留工事着工 14 学級、児童数 513 名 低鉄棒（デジタルジム設置） プレハブ校舎竣工	平成 22.5.1 平成 23.3.11 平成 23.5.1 平成 24.3.2 平成 24.4.1 平成 24.5.1 平成 24.5.11 平成 24.12.20	内海 俊行 (H24.4~26.3)	22 学級、児童数 519 名 東日本大震災発生・対応 18 学級、児童数 491 名 3.11 桜学校プロジェクト江戸彼岸桜植樹
昭和 60.5.1 昭和 61.5.1 昭和 62.3.20 昭和 62.5.1 昭和 63.5.1 平成元.5.1 平成元.10.6	板橋 敏男 (S60.4~63.3)	16 学級、児童数 563 名 18 学級、児童数 592 名 開校記念 5 周年植樹祭 20 本 19 学級、児童数 630 名 21 学級、児童数 667 名 増築校舎竣工	平成 25.5.1 平成 26.4.1 平成 26.5.1 平成 27.3 平成 27.5.1 平成 28.4.1	佐々木裕美 (H26.4~28.3)	18 学級、児童数 478 名 体操日本来校（ロンドン五輪） 体操日本金メダル報告会再来校 17 学級、児童数 435 名
	前田 忠男 (S63.4~H3.3)	22 学級、児童数 706 名 23 学級、児童数 747 名 24 学級、児童数 825 名 開校 10 周年記念式典、 児童会の歌・旗制定披露	平成 28.5.1 平成 28.12.21 平成 29.3.27 平成 29.4.1 平成 29.5.1 平成 29.5.28 平成 29.9.27 平成 30.2.16 平成 30.4.1 平成 30.5.1 令和元.5.1 令和元.5.16 令和 2.4.1 令和 2.5.1 令和 3.5.1	佐藤 光江 (H28.4~30.3)	16 学級、児童数 434 名 太陽光発電開始 17 学級、児童数 428 名 七ヶ浜・グローバル PROJECT ～世界を見据えて地域に根ざす～ 試行 16 学級、児童数 405 名 教育課程特例校に指定 南校舎トイレ改修工事開始 七ヶ浜・グローバル P 全面実施 16 学級、児童数 406 名 第 1 回地区民合同大運動会 南校舎トイレ改修工事終了 南、北校舎高架水槽工事終了
平成 2.5.1 平成 3.5.1 平成 4.2.1 平成 4.2.21 平成 4.5.1 平成 5.4.1 平成 5.5.1 平成 6.3.10 平成 6.5.1 平成 7.4.1 平成 7.5.1 平成 8.5.1 平成 9.5.1 平成 10.5.1 平成 11.5.1 平成 11.7.3	佐久間義昌 (H3.4~5.3)	ボランティア活動普及事業協力校指定 24 学級、児童数 857 名 増築校舎竣工 24 学級、児童数 894 名	令和 4.4.1 令和 4.5.1 令和 5.5.1 令和 5.5.27 令和 6.2.15 令和 6.5.1	渡邊 誠 (H30.4~R2.3)	17 学級、児童数 375 名 17 学級、児童数 383 名 エアコン工事開始
平成 7.5.1 平成 8.5.1 平成 9.5.1 平成 10.5.1 平成 11.5.1 平成 11.7.3	三品 正隆 (H7.4~H9.3)	26 学級、児童数 873 名 27 学級、児童数 847 名		加藤久美子 (R2.4~ R4.3)	18 学級、児童数 361 名 17 学級、児童数 349 名 タブレット導入 優良少年消防クラブ表彰 (総務大臣賞)
平成 12.5.1 平成 13.5.1 平成 14.4.1	高橋 宏 (H9.4~H12.3)	25 学級、児童数 784 名 25 学級、児童数 753 名 24 学級、児童数 742 名 開校 20 周年記念式典、記念 蔵書、タイムカプセル埋設		丹野 哲也 (R4.4~)	17 学級、児童数 337 名 17 学級、児童数 335 名 地区民合同大運動会（4 年振り） 職員用 PC 入れ替え 17 学級、児童数 332 名
平成 14.5.1 平成 14.7.22 平成 15.5.1 平成 16.5.1	三浦 邦弘 (H12.4~14.3) 織田 茂敏 (H14.4~17.3)	22 学級、児童数 670 名 22 学級、児童数 652 名 福祉教育・ボランティア学習 推進協力事業指定 心をはぐくむ教育活動推進校指定 21 学級、児童数 650 名 体育館屋根の改修工事 21 学級、児童数 624 名 20 学級、児童数 591 名			

○学校経営方針

(1) 組織力の向上 職員の「強み」を生かすとともに、組織力で教育活動を展開する。

チーム学校

(2) 地域と学校の協働 家庭・地域、関係機関との連携を図り、信頼される学校をつくる。

開かれた学校

(3) 教育環境の整備 人的教育環境、物的教育環境の両面を充実させる。

学校は地域に浮かぶ船

○学校教育目標 「心身ともに健康で、自ら気づき・考え・行動する児童の育成」

○目指す児童像

命を大切にする子供	心を大切にする子供	学びを大切にする子供
<p>(1) 「生きる力」の育成</p> <p>①自己有用感を高める学級経営の実践</p> <p>②コミュニケーション能力を高める教育活動の展開</p> <p>③運動する意欲を高める手立ての設定</p> <p>④志教育を重視した活動の設定</p> <p>⑤家庭・地域との連携</p>	<p>(2) 「いじめ問題」・「不登校」への対応</p> <p>①自己理解・他者理解を重視した「道徳」指導</p> <p>②個別最適化を目指した特別支援教育の実践</p> <p>③的確な情報把握と組織対応を重視した生徒指導</p> <p>④多様な学びの場の設定</p> <p>⑤家庭の教育力の向上</p>	<p>(3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現</p> <p>①「学びの午前・活動の午後」の実践</p> <p>②授業改善を目指した現職教育の実践</p> <p>③志教育を意識した小・中連携の強化</p> <p>④読書習慣の定着</p> <p>⑤家庭学習の充実</p>

七ヶ浜・グローバルPROJECT ～世界を見据えて、地域に根ざす～（9年次）

1 学び方の習得と基礎的・基本的な事項の習熟

- (1) 小学校低学年に「学習不安」を持たせないよう、基礎的・基本的な事項の習熟に努める。
- (2) 学び方を習得させる。個に応じて学習達成感を育む自学力を身に付けさせる。
- (3) 「アクティブラーニング」は9年間を通して身に付けさせる。
- (4) 午前5時間制（1～5時間目を40分、6時間目を60分等）積極的なカリキュラムマネジメントにより、授業時間の弾力性を大幅にもたせる。

2 不登校・いじめ問題等へのチーム対応

- (1) 学校、学校教育支援センター、子ども未来課等が連携し、幅広い児童生徒の問題行動に対して未然防止段階から「チーム対応」を行う。
- (2) 学校教育支援センターに通所している児童生徒には、教育機会確保法の主旨に鑑みて、学校と連携した学習活動や進路指導を行う。
- (3) 初期対応の支援に重点を置く。家庭環境を含めたアセスメントをしっかりと行い、不登校の様態に応じた「チーム」対応を行う。保護者との相談活動を必須とし「進路指導の視点」をもった長期的支援を行う。

3 英語を通じたコミュニケーション力の育成

- (1) 自分で考え、意見や思いを伝え合う力を、英語をツールとしたコミュニケーション力の育成によって培う。「明るく、楽しく、面白く」の切り口で英語をシャワーのように浴びせ、かつ豊富な発話量を確保する。
- (2) 教育課程の特例のもと町独自に構想した「英語コミュニケーション科」（全学年）のさらなる充実を図る。
- (3) ALTをT1、学級担任をT2とするチームティーチングで授業を行う。

4 地域連携

- (1) 地域学校協働本部（生涯学習センター内）をベースに、地域の方々職業人等の多様な人材を招き学習活動を展開する。
- (2) 地域と学校の連携のもと地域の特色や伝統を調べ、南海トラフ巨大地震による津波等の危機予測に基づいた新ハザードマップを活用するなど防災教育の観点での課題解決的な防災学習に取り組む。
- (3) 震災伝承の取組。国内自然災害復興プロセス学習。

○ 特色ある教育活動【七ヶ浜・グローバルPROJECT】の推進

- (1) 学び方の習得:「明るく、楽しく、面白い」授業づくりを行う。令和6年度は研究教科を算数(1年次)とし、研究主題を「よく考え、学びを深める児童の育成 ～課題設定と対話場面の工夫を通して～」として取り組む。また、積極的、効果的にICTを取り入れて授業を展開する。
- (2) 不登校・いじめ対応:担任及び全職員が一体となり、早期発見・早期対応に力を入れる。また、未熟の段階から、学校教育支援センター及び関係機関とチーム対応を行い、SSW、SCなどを効果的に連携する。
- (3) 英語コミュニケーション:英語をツールとしたコミュニケーション力を培い、次世代を担う児童を育成する。全学年でALT、担任で明るく、楽しく、面白い授業、豊富な発話量のある授業を展開する。
- (4) 地地域連携:七ヶ浜の特色や伝統について理解を深める。総合的な学習の時間を活用し、地域や関係機関等の人材と交流しながら、防災教育の観点も含め学びを深める。七ヶ浜最良の特色である「お互いの顔が見える」地域コミュニティを維持し、同時に国際交流員を講師に、他国で働くことについてキャリア教育を展開する。

○教職員等構成

◎印は学年主任

No	職名	氏名	学級担任等	主な校務分掌						
1	校長	丹野 哲也		学校CIO						
2	教頭	鈴木 仁		校務全般						
3	総括主幹兼事務長	伊藤 順子		学校事務全般						
4	主幹教諭	大友 邦彦		不登校対応担当、社会(6年生)						
5	教諭	阿部 伸一郎	教務主任	特別支援教育コーディネーター、社会(5年生)						
6	養護教諭	大槻 裕美子		学校保健、衛生推進者						
7	栄養教諭	庄子 美智代		食育担当、健康増進プログラム						
8	教諭	本木 真理子	◎1年1組	低学年主任、英語コミュニケーション、文化的行事						
9	教諭	佐々木 麻奈	1年2組	志教育、生活科主任						
10	教諭	千葉 颯雲	2年1組	生徒指導主任、安全主任、視聴覚主任						
11	教諭	高橋 樹里	◎2年2組	2学年主任、国語主任、教科書担当						
12	教諭	前森 菜美子	◎3年1組	副教務主任、中学年主任、研究主任、算数主任						
13	教諭	小田 康平	3年2組	社会科主任、学級活動						
14	教諭	和泉 陽子	4年1組	図工主任、クラブ活動						
15	教諭	吉川 真由子	◎4年2組	4学年主任、道徳教育推進教師、福祉・人権教育						
16	教諭	山村 楓生	5年1組	情報(ICT担当)主任、音楽主任、国際理解教育						
17	教諭	横田 拓生	◎5年2組	5学年主任、体育主任、委員会活動						
18	教諭	齋藤 美智子	◎6年1組	高学年主任、研究副主任、総合的な学習の時間						
19	教諭	内海 貴洋	6年2組	体育副主任、児童会、代表委員会						
20	教諭	千葉 淑美	◎たんぼぼ1	特別支援学級主任、保健主事、図書館						
21	講師	増田 哲朗	たんぼぼ2	環境教育、学校美術館						
22	教諭	松田 茜	どんぐり	給食主任、家庭科主任、拾得物						
23	教諭	鈴木 明香	なかよし	7月16日より産休予定						
24	講師	三崎 恵理	あおぞら	拾得物						
25	教諭	坂本 雅紀	通級指導	1学年所属、地域連携、ふるさと教育						
26	教諭	山口 良之	理科専科	防災主任、理科主任						
27	拠点校指導員	後藤 善史	3年2組	※水曜日						
28	初任研後補充	吉川 千佳子	3年2組	※水曜日						
29	日本語指導	荒川 真由美		※水・木曜日						
30	S C	高橋 亜鶴沙		※木曜日						
31	A L T	CAMERON MAHLER DONOVAN	KEVIN ALEXANDER BLAKE	PRABVIR SINGH VIRDI						
32	町会計年度任用職員	三浦 淳子		特別支援学級等補助						
33	町会計年度任用職員	矢越 陽子		特別支援学級等補助						
34	町会計年度任用職員	土井 和江		特別支援学級等補助						
35	町会計年度任用職員	笹間 とも子		図書事務						
36	業務員	赤間幸子 大川あき子 長谷明男 佐藤 馨								
	校医内科医:	鹿島 哲	耳鼻科:	大井 聖幸	眼科:	沼崎 好子	歯科:	梅津 謹也	歯科:	粟生田俊彦
	薬剤師:	稲妻道子								



七ヶ浜町立七ヶ浜中学校

～自ら進んで行動し、豊かに交流し合う、たくましい生徒の育成～



学校 HP

〒 985 - 0802 宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字小浜 7 番地の 1

TEL 022 - 357 - 2843 FAX 022 - 357 - 5045

生徒数 194 名 P T A 会員数 196 名



特色ある教育活動

体育祭での応援合戦

国際村での合唱コンクール

代ヶ崎おはじきアート

校

歌

作詞 野口 賢二
作曲 福井 文彦

一 平和のしるし紺碧の
七つの海に連なれる
理想に映ゆる七ヶ浜
世紀の潮乗り越えて
大綿津見の太平洋
雄々しく直く棹ささん

二 進取の気象敢然と
開く無限の海の幸
日頃鍛えし ころがねの
腕組みゆく友垣と
誠を誓う君ヶ岡
一致和協の意気高し

三 文化日本の往くところ
真理の華の咲くところ
希望に満てる黎明の
若き血潮に燃ゆる者
日に研鑽の力あり
日に躍進の誇りあり

○在籍生徒数及び学級編成(令和6年5月1日現在)

学年		1年		2年		3年		しおかぜ	はまかぜ	うみかぜ	合計
組		1組	2組	1組	2組	1組	2組				
生徒数	男	15	14	16	16	12	12	3	3	1	92
	女	13	14	18	17	19	19	2	0	0	102
	計	28	28	34	33	31	31	5	3	1	194
学年計		56		67		62		9			194

○沿革

年月日	概要	年月日	概要
昭和22. 4. 1	七ヶ浜村立七ヶ浜中学校設置認可 初代校長 高橋豊治就任	平成 3.10. 2	前町長赤間今雄氏より生徒用図書寄贈
4. 8	開校式	平成 4. 4. 1	第15代校長 榊井庸彦就任
4.16	父母教師会結成	7.31	パソコン教室完成 (22台設置)
9.20	校歌制定	8.19	陸上全国大会 1名出場
昭和24. 9.20	第2代校長 佐川清人就任	8.26	新校旗披露
昭和25.10. 3	旧校舎移転、新校舎落成	10. 8	宮城県駅伝大会男子準優勝・東北大会出場
昭和30. 1. 6	3号校舎4教室新築	平成 5. 8. 8	陸上東北大会 2名出場
4. 1	第3代校長 石野寿治就任	平成 6. 4. 1	第16代校長 及川邦男就任
9.27	文部省指定産業教育公開	平成 7. 7.22	県中総体ソフトテニス優勝・東北大会出場
昭和31. 4. 1	漁村地域教育計画研究協力校指定	8. 8	陸上東北大会男女各1名出場
11. 6	8教室火災消失	平成 9. 4. 1	第17代校長 八巻隆俊就任
昭和33. 4. 1	第4代校長 山家正就任	4.18	創立50周年記念式典、玄関前記念前庭作庭
昭和34. 1. 1	町制施行七ヶ浜町立七ヶ浜中学校と改称	7.20	海岸清掃奉仕活動表彰 (運輸省第二港湾建設局長賞)
昭和35. 1.10	屋内体育館落成	8. 9	陸上東北大会男子棒高跳び第4位
10.27	学校放送教育公開	12.15	創立50周年記念玄関前庭園完成
7.19	特別教室 (調1・理1・音1) 新設	平成10. 7.20	海岸清掃奉仕活動表彰 (運輸大臣賞)
昭和36. 8. 7	水道設備完備	平成11. 4. 1	第18代校長 武田光彦就任
10.18	放送教育全国大会公開	平成12. 3.20	テニスコート新設
昭和39.10.30	学力対策研究指定校公開	5.20	第1回七向定期戦総合優勝
昭和41. 1. 5	第5代校長 伊賀広太就任	平成13. 4. 1	七ヶ浜ジョイント5として活動開始
7.30	鉄筋3階新校舎落成	平成14. 4. 1	第19代校長 三浦邦弘就任
昭和42. 1.20	特別教室改造 (金工・木工・電気)	8. 6	水泳東北大会 (女子400m個人メドレー7位)
10.25	技術家庭科全国大会公開	平成15. 1.18	宮城県アンサンブルコンテスト銀賞
昭和43. 4. 1	視聴覚教育研究指定、NHK放送研究委嘱校	4. 1	文部科学省指定学力向上フロンティアスクール
昭和44.10. 1	視聴覚教育公開研究会	8. 9	水泳東北大会女子2名出場 (400m個人メドレー5位)
昭和45. 4. 1	第6代校長 芦沢純夫就任	11.16	宮城県バドミントン選手権大会男子団体優勝
昭和46. 4.30	体育後援会設立	平成16. 4. 1	第20代校長 高橋勉就任
昭和47. 4. 1	第7代校長 菅原誠喜就任	8. 8	水泳東北大会女子1名出場
昭和49. 4. 1	第8代校長 相馬勇就任	11.26	学力向上フロンティア公開研究会 (算数・数学)
昭和51. 9. 1	第9代校長 佐藤一郎就任	七ヶ浜ジョイント5として町内5校一斉公開	
昭和52.10.28	創立30周年記念式典、記念誌発行、記念植樹	平成17. 1.18	宮城県アンサンブルコンテスト金賞
10.30	校内放送設備設置	2.21	宮城IT推進事業e-黒板活用プロジェクト実践協力校公開研究会 (数学)
昭和53. 6.12	宮城県沖地震発生、校舎に被害	8.10	バドミントンダブルス男子東北大会出場
昭和54. 4. 1	第10代校長 古川和助就任	平成18. 1.14	宮城県アンサンブルコンテスト
昭和55. 8.26	野球東北大会準優勝全国大会出場	金賞 サキソフォン四重奏、銀賞 フルート四重奏	
昭和57. 4. 1	第11代校長 大坂正寿就任 町営プール学校移管	4. 1	第21代校長 齋藤亮一就任 学校2学期制実施
8.22	全日本柔道大会出場	6.11	宮城県中総体男子バドミントン部三連覇達成
昭和58. 7. 1	第12代校長 辺見真平就任	8. 9	東北柔道大会男子66kg級優勝、女子44kg級第3位
昭和59. 3.30	玄関・屋体通路等改築工事竣工	8.21	柔道全国大会女子個人出場
12. 1	武道館新築落成・校門及び通用門樹立	11. 4	宮城県新人大会 野球第3位
昭和60. 4. 1	県福祉教育普及指定校	11.16	みやぎIT教育推進事業e-黒板活用プロジェクト研究授業公開
7.24	宮城県中学校総合体育大会陸上競技男子総合優勝	平成19. 8. 4	宮城県吹奏楽コンクール金賞
11.24	宮城県中学校新人柔道大会優勝	10. 3	宮城県駅伝競走大会第3位、東北大会出場
昭和61. 7.24	宮城県中学校総合体育大会柔道男子総合優勝	平成20. 1.13	宮城県アンサンブルコンテスト
昭和62. 4. 1	第13代校長 末永剛就任	金賞 フルート三重奏、木管八重奏	
昭和63. 7.24	宮城県中学校総合体育大会男子卓球シングルス優勝	銅賞 金管八重奏	
平成元 8. 9	陸上東北大会出場、水泳東北大会出場	平成20. 4. 1	第22代校長 渡邊麗子就任
10.13	バドミントン東北大会出場	6.14	宮城県中総体男子バレー部三連覇達成
平成 2. 3.31	文部省指定格技指導推進公開	11. 9	少年の主張全国大会 国民奨励賞受賞
平成 2. 4. 1	向洋中学校と分離	平成22. 1.16	宮城県アンサンブルコンテスト
8. 7	第14代校長 渡邊敏雄就任	金賞 木管八重奏	
平成 3. 3.15	陸上東北大会出場、水泳東北大会出場	平成22. 4. 1	第23代校長 鈴木朝二就任
8.17	屋内体育館新築落成	4. 1	文部科学省教育研究開発 (外国語) 指定校
	陸上全国大会出場		

年月日	概 要	年月日	概 要
平成22. 6. 6	宮城県管打楽器ソロコンテスト	平成28. 8. 4	東北中学校水泳大会(グランディ21)男子2名、女子2名出場
22. 8. 7	宮城県吹奏楽連盟会長賞 3年男子 金賞 3年男子		男子200m平泳ぎ5位、
平成22. 8.27	東北中学校柔道大会 2年男子出場		男子200m個人メドレー6位
12.24	宮城郡中学校駅伝競走大会男子優勝 県大会5位	8. 8	東北中学校柔道大会(郡山市)女子個人5位
	全日本中学生管打楽器ソロコンテスト南東北大会	8.19	全国中学校柔道大会(上越市)女子個人1名出場
	金賞3年男子(東北大会出場)	平成29. 7.14	ライジング・サン・プロジェクト2017開校式
平成23. 3.11	東日本大震災発生 校舎全壊	8. 3	東北中学校柔道大会(山形市)女子個人5位
平成23. 4. 7	校舎被災のため向洋中学校へ移転	8. 7	東北中学校水泳大会(いわき市)
8. 6	東北中学校柔道大会 3年男子・2年女子出場		男子個人2位・6位、女子個人7位
9.16	文部科学省教育研究開発(外国語)公開研究会	8.22	全国中学校柔道大会(福岡市)女子1名出場
9.21	向洋中学校から本校敷地内仮設校舎へ移転	9.10	吹奏楽コンクール東北大会(イズミティ21)金賞
平成24. 4. 1	第2仮設校舎(特別教室棟)供用開始	9.28	ライジング・サン・プロジェクト2017合同発表会(アクアリーナ)
8.10~23	モンテネグロ訪問(生徒10名参加)	10. 7	ライジング・サン・プロジェクト2017東京発表会
8. 6	東北中学校柔道大会 男子3名出場	10.14	吹奏楽コンクール東日本大会(宇都宮)銅賞
8.24	全国中学校柔道大会 男子1名出場	平成30. 8. 3	東北中学校水泳大会出場(米沢市)
平成25. 3. 8	鉄筋校舎・木造校舎お別れ式	8. 8	東北中学校剣道大会出場(弘前市)
3.11	鉄筋校舎・木造校舎解体工事開始	8.10	鎌倉市中学生防災サミット参加
4. 1	第24代校長 遠藤勝則就任	9. 1	宮城県総合防災訓練
8. 9	東北中学校柔道大会 男子2名出場	12.12	七ヶ浜町公立中学校英語科教員熊谷東中学校視察
8.10	東北中学校水泳大会 男子リレー、個人3名出場	31. 2~3	武道館屋根改修工事
8.21	全国中学校柔道大会 男子1名出場	令和元. 8. 6	東北中学校剣道大会(北上市)女子個人出場
9.10	新校舎建設工事安全祈願祭・起工式	8.11	東北中学校水泳大会(秋田市)
平成26. 1.25	第47回宮城県アンサンブルコンテスト		男子100m自由形5位
	金賞 木管三重奏	8.22	全国中学校剣道大会(大阪市)女子個人出場
2. 9	全日本アンサンブルコンテスト第41回東北大会	9.15	吹奏楽コンクール東北大会(青森市)
	銀賞 木管三重奏		小編成の部 銅賞
8. 9~	東北中学校水泳大会(男子1名、女子1名 青森市)	2. 2~3	野球バックネット改修工事
	男100m背泳ぎ、女100m平泳ぎ・女200m平泳ぎ	4. 1	第26代校長 高橋 禎毅就任
11.25	新校舎使用開始	2. 4~5	新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休業
12.18	新校舎落成記念式典	3. 3. 5	生徒用iPad配置(197台)
平成27. 4. 1	制服変更(H27年度入学生より)	3. 5.22	河北杯野球大会 優勝
8. 1~	東北中学校水泳大会(男子2名、女子4名 盛岡)	3.11. 8	英語コミュニケーション公開授業
10.31	東北中学校駅伝大会(宮城県総合運動公園)	4. 3.16	地震により体育館一部破損
	男子18位	4. 3.30	新防災倉庫設置
12.25	全日本中学生高校生管打楽器ソロコンテスト	5. 8. 4	宮城県吹奏楽コンクール 中学生小編成の部 金賞
	東北大会 銀賞	5. 9. 3	東北吹奏楽コンクール 中学生小編成の部 銅賞
平成28. 4. 1	第25代校長 佐藤 剛就任		
	運動着変更(H28年度入学生より)		

○学校教育目標 自ら進んで行動し、豊かに交流し合う、たくましい生徒の育成

○目指す生徒像

- (1) 未来に向け、自ら考え、進んで行動する生徒
- (2) 豊かな人間関係を築き、柔軟な姿勢で共に成長する生徒
- (3) 自信をもって粘り強く取り組み、たくましさ身に付けた生徒

○学校経営基本方針

教育課程に関する法令を踏まえるとともに、宮城県教育委員会、七ヶ浜町教育委員会の基本方針(七ヶ浜・グローバルPROJECT)等に基づき、未来を生きる生徒一人一人の成長と「生きる力」の育成に向けて、次の3点を柱とした全職員が一丸となった教育活動が展開されるように学校経営を行う。

- ① 生き生きとした雰囲気と活力にあふれる校風を創造し、誇らしい学校づくりを推進する。
- ② 個性が尊重され、互いに認め合い、高め合う学校づくりを推進する。
- ③ 夢と希望の実現に向けた、たくましい歩みを支援する未来志向の学校づくりを推進する。

○年間行事予定

月	主 な 学 校 行 事 等
4	学年始休業, 第1学期始業式, 入学式, 避難訓練, 対面式, NRT 検査, 父母教師会総会, 開校記念日, 全国学力・学習状況調査, 各種検診
5	1・2年生校外学習, 町内一斉引渡し訓練
6	生徒総会, 防災学習・避難所設置訓練, 郡中総体, 二地区陸上大会, 郡水泳大会, I 期考査
7	校内合唱コンクール, 夏季休業, 県中総体, 教育相談
8	夏季休業, 実力考査
9	郡駅伝大会, II 期考査, 生徒会役員選挙, 郡中体連新人大会
10	3年生修学旅行, 体育祭, 第1学期終業式, 第2学期始業式
11	避難訓練, 教育相談, 自由参観
12	III 期考査, 学習参観, 冬季休業
1	冬季休業, 実力考査, 入学説明会, 私立高校入試
2	私立高校入試, IV 期考査, 3年生を送る会
3	公立高校選抜入試, 卒業式, 修了式, 入学生1日入学, 学年末休業, 離任式

○特色ある教育活動（七ヶ浜・グローバル PROJECT）

教育課程に関する法令を踏まえるとともに、宮城県教育委員会、七ヶ浜町教育委員会の基本方針（七ヶ浜・グローバル PROJECT）等に基づき、未来を生きる生徒一人一人の成長と「生きる力」の育成に向けて、次の3点を柱とした全職員が一丸となった教育活動が展開されるように学校経営を行う。

- ①生き生きとした雰囲気と活力にあふれる校風を創造し、誇らしい学校づくりを推進する。
- ②個性が尊重され、互いに認め合い、高め合う学校づくりを推進する。
- ③夢と希望の実現に向けた、たくましい歩みを支援する未来志向の学校づくりを推進する。

また、部活動任意加入の導入、部活動地域移行、ジェンダーフリー・男女共同参画の視点による各種改善（男女混合名簿・座席、集会列など）、メディアチャレンジデーなどスマホに関する指導工夫、学校ホームページによる積極的な情報発信に学校全体で取り組む。

○教職員等構成

教 職 員 一 覧

	職	氏 名	学級担任等	教科	部活動	主要担当校務
1	校 長	三浦 敏				学校経営
2	教 頭	引地 弘行		社会		校務全般, 父母教師会
3	安全担当主幹教諭	佐々木 伸浩	安全担当主幹	理科	ソフトテニス	防災主任, 学校安全
4	教 諭	堀井 康裕	教務主任	数学	剣道	総合的な学習
5	教 諭	土井 康義	副教務主任	数学	吹奏楽	儀式的行事, 時間割
6	教 諭	加藤 知美	1 学年主任	社会	バレーボール	いじめ・不登校支援
7	教 諭	小野 裕太	1 年 1 組担任	英語	バドミントン男子	生徒指導主事
8	教 諭	大和 美緒	1 年 2 組担任	国語	バレーボール	福祉教育, 環境教育
9	講 師	熊谷 崇正	うみかぜ学級担任	保体	バスケットボール男子	部活動主任・中体連理事
10	教 諭	森 妙子	2 学年主任	国語	剣道	志教育, 図書館教育
11	教 諭	津田 拓真	2 年 1 組担任	技・家	ソフトテニス	情報教育推進リーダー
12	教 諭	丹野 桃世	2 年 2 組担任	保体	バドミントン女子	中体連, 生徒会担当
13	教 諭	茅田 真一	はまかぜ学級担任	音楽	吹奏楽	道徳教育推進
14	教 諭	後藤 郁子	3 学年主任	英語	バドミントン男女	進路指導主事
15	教 諭	石川 美由紀	3 年 1 組担任	理科	バスケットボール男女	研究主任
16	教 諭	中野 敬寛	3 年 2 組担任	社会	バスケットボール女子	生徒会
17	教 諭	舎利倉 美帆	しおかぜ学級担任	美術	美術	特別支援教育コーディネーター
18	養護教諭	室田 恵子				保健主事
19	主 事	菊池 真優 高橋 薫				学校事務・経理
20	非常勤講師	山村 弘行		国語		
21	A L T	林・カハドル・ゲラ		英語		
22	補助員	渡邊 玲子				事務補助
23	補助員	及川 輝代				特別支援補助
24	補助員	猪股 美仁				特別支援補助
25	スクールカウンセラー	及川 洋志				教育相談
	業務員	工藤 哲彌	山口 和則	加川 のり子	佐藤 淳子	
	管理校医	鹿島 哲	内科			
	校 医	大井 聖幸	耳鼻科			
	校 医	大浪 英之	眼科			
	校 医	川口 剛	歯科			
	薬 剤 師	根本 一郎				



七ヶ浜町立向洋中学校

〒985-0823 宮城県七ヶ浜町陸山 丁目3-18

輝く瞳とほほえみあふれる生徒の育成

生徒数：221名 正会員数：221名

【体育祭】



【校内合唱コンクール】



【小中交流あいさつ運動】



校歌

作詞 佐々木 陽一郎
作曲 日暮 雅信

一、東雲の空明けゆきて

大海原に陽は昇る

希望の躍る学びの庭に

変わらぬ真理求めゆく

われらが向洋中学校

二、大木の文化しのぶとき

薫るはまぎく岡の上

理想に燃ゆる学びの庭に

豊かな心育てゆく

われらが向洋中学校

三、水平線のかなたより

大地に映ゆる海の幸

未来を拓く学びの庭に

凛々しい体鍛えゆく

われらが向洋中学校

学校教育目標

輝く瞳とほほえみあふれる生徒の育成

学校経営方針

(1) 生徒の声を聞く (2) 幸福と効率を求める (3) あきらめず、できる方策を組織で追い求める。

○在籍児童数及び学級編制（令和6年5月1日現在）

学年	1年		2年		3年		特支		合計	
組	1	2	1	2	1	2	くろまつ	えんじゆ		
児童数	男	9	11	20	21	18	17	4	6	106
	女	21	19	18	17	19	19	1	1	115
	計	30	30	38	38	37	36	5	7	221
計	60		76		73		12			

○学校教育目標を達成するための重点施策

「AAA」安心・安全・愛情の学校

- | | |
|------------|---|
| (1) 学習指導 | ①自主的に家庭学習をするため、家庭学習ノートを配布する。
② ICT 機器の持ち帰りを前提に、家庭での繰り返し学習を課題として与える。 |
| (2) 生徒指導 | ①月1回の思いやり調査を実施する。
②各月ごとの重点努力目標を各教室正面黒板右に掲示する。 |
| (3) 特別活動 | ①学級単位に実態即した組織を設け自主的な活動計画を立てる。
②生徒会執行定例会において学校全体の様子の意見交換をし、改善点を提案する。 |
| (4) 道徳教育 | ①道徳的実践意欲を高めるため、図書館の整備充実や校内緑化の推進を行う。
②道徳的実践力を高めるため、職場体験等豊かな体験活動を充実させる。 |
| (5) 特別支援教育 | ①特別な教育支援が必要な生徒の実態把握と支援方法の検討し、担任へ具体的な支援方策を提示し情報を共有する。 |
| (6) 健康安全教育 | ①健康安全に対する態度と習慣を身に付けさせるため、授業で保健指導を行う。 |
| (7) 国際理解 | ①七ヶ浜町の取り組みについて理解し、積極的に国際交流する生徒を育成するため、プリマス町（アメリカ合衆国）について学ぶ機会を設定する。 |
| (8) 地域との連携 | ①ボランティア活動や地域の行事への積極的な生徒の参加を推進する。
②地域の教育力を活用した総合的な学習を展開する。 |
| (9) 志教育 | ①地域に根差した地域学習や職場体験活動等を実施することで、地域資源を発掘する。
②他地域での調査学習・震災学習等の実施することで、郷土への思いを醸成する。
③関わり合いを通して自己の能力・適性を把握し、その伸長に努める態度を育成する。 |

○特色ある教育活動【七ヶ浜・グローバル PROJECT の推進】

七ヶ浜町では、グローバル人材育成を主施策に掲げ、児童生徒が困難と直面している世界の中でも前向きな姿勢で成長していけるよう、町内小中学校5校が連携して「七ヶ浜・グローバル PROJECT」を推進している。各校は、「学び方の習得」「不登校・いじめ問題等へのチーム対応」「英語を通じたコミュニケーション力の育成」「地域学校協働活動」「地域に開かれた学校」という5つの重点施策に対する教育活動を実践し、魅力ある学校づくりに努めている。特に中学校英語科では、町独自の「七ヶ浜5ラウンドシステム」の学習方法を工夫して語彙力等英語運用能力の育成を図っている。また、「学び方の習得」では、言語活動を取り入れた授業づくりのベースとして、日本語を読み書きする力を鍛える取組を工夫する。

学 校 行 事

月	主 な 学 校 行 事 等
4	第1学期始業式・第35回入学式・対面式・PTA講演会・PTA総会・学年学級懇談会
5	3年修学旅行・身体測定・スポーツテスト・健康診断・生徒総会・引き渡し訓練・避難訓練
6	宮城郡中学校総合体育大会・仙台北地区中学校総合体育大会・仙台北地区陸上大会・定期考査Ⅰ 内科検診・生徒会行事
7	仙台地区駅伝大会・校内合唱コンクール・小中合唱交流会・学習参観・学年学級懇談会 民生児童委員との懇談会・宮城県中学校総合体育大会・吹奏楽コンクール地区大会・教育相談（全学年）
8	教育相談（全学年）・PTA奉仕作業・全校実力考査
9	芸術鑑賞会（3年）・定期考査Ⅱ・仙台北地区中学校新人大会
10	第1学期終業式・第2学期始業式・生徒会役員改選・第35回体育祭
11	進路説明会・1年仙台自主研修・2年職場体験・避難訓練・教育相談（3年）・フリー学習参観・オープンスクール
12	定期考査Ⅲ・開校記念日（7日）
1	全校実力考査・新入生保護者説明会・私立高校A日程入試・教育相談（1・2年）
2	教育相談（1・2年）・私立高校B日程入試・定期考査Ⅳ・3年生を送る会
3	同窓会入会式・公立高校入試・第35回卒業式・修了式・新入生一日入学・離任式

学 校 の 沿 革

平成 2. 4. 1	宮城郡七ヶ浜町立向洋中学校創立	8. 9	東北中学校卓球大会男子団体 柔道大会男子個人出場
4. 5	初代校長 中津川伸二就任	10.25	宮城県小中学生書道・交通安全ポスターコンクール県知事賞
4. 7	開校記念式典	平成 21. 3. 7	第 19 回卒業式
4. 9	第 1 学期始業式, 第 1 回入学式	4. 9	第 20 回入学式
8. 31	プール建設工事竣工(25m8 コース)	11. 7	宮城県下中学校柔道優秀選手受賞
9. 23	第 1 回開校記念体育祭	平成 22. 3. 6	第 20 回卒業式
11. 18	第 1 回開校記念向洋祭	4. 9	第 21 回入学式
12. 7	校歌制定披露発表会	6. 20	全日本少年軟式野球宮城県大会優勝
平成 3. 3. 13	第 1 回卒業式	7. 19	海洋環境保全活動に対する国土交通大臣表彰
4. 8	第 2 回入学式(200 名)	11. 14	宮城県下中学校柔道優秀選手受賞(2 名)
6. 26	柔剣道場建設着工	平成 23. 3. 11	第 21 回卒業式 ※東日本大震災一部校舎損壊
8. 20~21	全日本中学校陸上選手権大会出場	4. 22	第 22 回入学式(109 名)
9. 28	第 2 回向洋祭	8. 23	全国中学校柔道大会 男子個人出場
平成 4. 2. 26	柔剣道場落成記念式典	11. 1	宮城県造形教育作品展 特選
3. 14	第 2 回卒業式	11. 12	宮城県柔道優秀選手受賞(2 名)
4. 1	第 2 代校長 加藤宏就任	11. 26	全国公募小中高川開書道展 準大賞 特別団体賞
4. 8	第 3 回入学式(187 名)	3. 10	第 22 回卒業式(107 名)
10. 3~4	第 3 回向洋祭	平成 24. 4. 1	第 10 代校長 鈴木文也就任
平成 5. 3. 12	第 3 回卒業式	4. 10	第 23 回入学式(100 名)
4. 8	第 4 回入学式(200 名)	8. 23	全国中学校柔道大会出場
8. 21	全国中学校卓球大会 女子個人出場	平成 25. 3. 10	第 23 回卒業式(110 名)
11. 7	第 4 回向洋祭	4. 9	第 24 回入学式(121 名)
平成 6. 3. 16	第 4 回卒業式	12. 14	第 33 回宮城県中学校新人卓球大会 男子団体優勝
4. 1	第 3 代校長 庄司嘉明就任	平成 26. 2. 1	宮城県中学校バスケボール大会 女子の部優勝
4. 11	第 5 回入学式(182 名)	3. 8	第 24 回卒業式(109 名)
8. 21	全国中学校卓球大会 女子個人出場	3. 27	全国中学校選抜卓球大会 男子団体出場
10. 16	第 5 回向洋祭	4. 1	第 11 代校長 櫻井 寛就任
平成 7. 3. 15	第 5 回卒業式	4. 9	第 25 回入学式(100 名)
4. 10	第 6 回入学式(184 名)	7. 22	宮城県中総体卓球男子団体準優勝 卓球個人優勝
8. 20	全国中学校卓球大会 女子団体出場	8. 8	吹奏楽コンクール宮城県大会小編成の部金賞
10. 18	東北音楽教育研究大会 授業提供・記念演奏参加	8. 25	全国中学校卓球大会出場
10. 22	第 6 回向洋祭	平成 27. 3. 8	第 25 回卒業式(104 名)
平成 8. 3. 15	第 6 回卒業式	3. 28	第 16 回全国中学選抜卓球大会 ベスト 8
4. 1	第 4 代校長 遊佐敏就任	4. 10	第 26 回入学式(94 名)
4. 9	第 7 回入学式(192 名)	8. 10	東北中学校卓球大会男子団体 2 位男子シングルス優勝
5. 25	第 7 回体育祭	11. 6	第 63 回東北六県中学校英語暗唱・高等学校
8. 19	全国中学校卓球大会 女子個人出場		英語弁論 中学校の部第 1 位
~23	全国中学校柔道大会 男子個人出場	12. 24	第 24 回全日本中学生高校生打楽器ソロコンテスト
9. 22	第 7 回向洋祭		南東北大会 金賞
平成 9. 3. 14	第 7 回卒業式	平成 28. 3. 12	第 26 回卒業式(119 名)
4. 9	第 8 回入学式(194 名)	4. 9	第 27 回入学式(102 名)
8. 20	全国中学校卓球大会女子団体優秀校, 女子個人 5 位	平成 29. 3. 10	第 27 回卒業式(98 名)
~25	全国中学校柔道大会 男子個人出場	4. 11	第 28 回入学式
平成 10. 3. 11	第 8 回卒業式	7. 22	宮城県中総体 卓球個人優勝
4. 9	第 9 回入学式(177 名)	8. 2	東北中学校卓球大会個人優勝
平成 11. 3. 10	第 9 回卒業式	平成 30. 3. 9	第 28 回卒業式(94 名)
4. 1	第 5 代校長 佐藤泰信就任	4. 2	第 12 代校長 大槻泰弘就任
4. 9	第 10 回入学式(150 名)	4. 10	第 29 回入学式
平成 12. 3. 10	第 10 回卒業式	6. 19	郡陸上大会男女総合優勝 男子総合優勝
4. 11	第 11 回入学式(200 名)	7. 24	宮城県中総体 卓球男子団体優勝, 男子個人第 1 位
5.	第 1 回七ヶ浜中学校・向洋中学校部活動定期戦		柔道女子個人第 3 位
11. 18	10 周年記念式典	8. 4	東北中学校卓球大会個人第 1 位
※平成 12.	ジョイント 5 事業実施	8. 22	全国中学校卓球大会個人出場
平成 13. 3. 10	第 11 回卒業式	平成 31. 3. 3	七ヶ浜町環境大賞 環境美化部門
4. 1	第 6 代校長 高橋 清就任		優秀賞 (Fプロジェクト・環境委員会)
4. 10	第 12 回入学式(150 名)	3. 8	第 29 回卒業式(103 名)
7. 31	東北中学校卓球大会 男子団体, 個人出場	4. 9	第 30 回入学式(70 名)
10. 14~18	国民体育大会	令和元. 6. 18	郡陸上大会 男子総合優勝
平成 14. 3. 9	第 12 回卒業式	7. 14	県中学生卓球大会 男子シングルス第 3 位
4. 9	第 13 回入学式(149 名)	7. 22	宮城県中総体卓球大会 女子団体第 3 位
平成 15. 3. 8	第 13 回卒業式	7. 27	各教室にエアコン設置完了
4. 1	第 7 代校長 堀米貞春就任	12. 1	第 67 回児童生徒徒川開書道展 大賞
4. 9	第 14 回入学式(142 名)	12. 6	創立 30 周年記念式典
平成 16. 3. 9	第 14 回卒業式		全国中学生人権作文コンテスト塩釜地区大会表彰式
4. 1	2 学期制試行	12. 27	トイレ全面洋式化改修完了
4. 9	第 15 回入学式(138 名)	令和 2. 3. 8	第 30 回卒業式(84 名)
8. 4~8	東北中学校卓球大会出場	6. 2	第 31 回入学式(95 名)
	東北中学校バレーボール大会出場	11. 29	卓球県新人大会男子団体優勝
11. 26	学力フロンティア事業公開研究会	令和 3. 2. 12	校内高速ネットワーク回線工事・機器設置完了
平成 17. 3. 11	第 15 回卒業式	3. 7	第 31 回卒業式(91 名)
4. 1	第 8 代校長 熊谷良市就任	3. 27	第 22 回全国中学校選抜卓球大会 男子団体出場
4. 9	第 16 回入学式(122 名)	4. 1	第 13 代校長 曾根秀輝就任
8.	東北中学校卓球大会 男子団体, 個人出場	4. 9	第 32 回入学式(91 名)
平成 18. 3. 10	第 16 回卒業式	8. 10	東北中学校水泳大会 女子 400m 個人トレー第 6 位
4. 8	第 17 回入学式(127 名)		女子 200m 個人トレー第 8 位
8.	東北中学校剣道大会女子個人 東北中学校柔道大会男子個人出場	8. 23	全国中学校卓球大会 卓球男子団体出場
平成 20. 3. 8	第 18 回卒業式	令和 4. 3. 9	第 32 回卒業式(69 名)
4. 1	第 9 代校長 加納清厚就任	3. 26	全国中学校卓球大会優秀校男子団体出場ベスト 16
4. 9	第 19 回入学式(124 名)		

令和4.4.11	第33回入学式(79名)		令和4.8.19	全国中学校卓球大会 卓球男子団体出場
8.9	東北中学校卓球大会 卓球男子団体準優勝		9.2	全国中学校水泳大会 女子個人出場
	東北中学校水泳大会 女子200m個人メドレー第4位		令和5.3.9	郡駅伝大会女子Aチーム優勝(県大会出場)
	東北中学校水泳大会 女子400m個人メドレー第5位		令和5.8.19	第33回卒業式(96名)
令和5.4.11	第34回入学式(77名)		令和6.3.9	全国中学校水泳大会 4×100mメドレーリレー第8位
8.7	東北中学校水泳大会 女子200m個人メドレー第2位			渡邊 沙妃
	東北中学校水泳大会 女子400m個人メドレー第3位			第34回卒業式(92名)
	渡邊 沙妃			

教職員一覧

	職名	担当	氏名	担当教科	部活動	主な校務分掌
1	校長		高橋 松雄			CIO
2	教頭		舘内 俊	数学		校務全般 PTA事務長
3	主幹教諭	教務主任	笠原 洋平	音楽	吹奏楽	教務全般 PTA庶務 地域連携
4	教諭	1学年主任	小野 敦也	英語	陸上	総合的な学習 PTA会計
5	教諭	1組 担任	高橋 薫	数学・理科	野球	学校開放 時間割
6	教諭	2組 担任	菅原 南	英語	バレーボール	特活主任 学級活動
7	教諭	くろまつ担任	阿部 光宣	社会	剣道	特別支援コーディネーター
8	教諭	副担任	木村 幸代	保健体育	バドミントン	中体連理事 保健主事 部活動
9	教諭	副担任	鈴木 若菜	社会	吹奏楽	生徒会会計 ほっとルーム
10	教諭	2学年主任	羽柴 英昭	美術	美術	防災主任 安全教育
11	教諭	1組 担任	及川 勇人	理科	バスケットボール	生徒指導主事 いじめ不登校
12	教諭	2組 担任	佐久間 聡子	国語	ソフトテニス	道徳教育 図書館教育 教研 浄書
13	講師	えんじゅ担任	高橋 美幸	社会	陸上	給食主任 ほっとルーム
14	教諭	副担任	菅野 美希	数学・家庭	卓球	学籍 ほっとルーム
15	教諭	3学年主任	大橋 智江	英語	バドミントン	国際理解教育 PTA体育文化
16	教諭	1組 担任	手塚 康平	数学・技術	ソフトテニス	研究主任 教科書
17	講師	2組 担任	遠藤 優斗	社会	バスケットボール	情報化推進リーダー 受賞記録
18	教諭	副担任	白鳥 美智代	国語	卓球	進路指導主事 志教育
19	講師	副担任	古山 学	数学	剣道	特別支援 拾得物 掲示
20	教諭	(休職中)	荘司 知子	家庭		
21	養護教諭	養護	遠藤 眞寿美			学校保健全般・教育相談・町学校保健会
22	主事	事務全般	櫻田 浩章			学校事務
23	町職員	図書事務職員	渡邊 玲子			学校図書
24	町職員	特別支援学級補助	土井 千穂			特別支援
25	町職員	特別支援学級補助	島 光枝			特別支援
26	SC	スクールカウンセラー	安野 純子			教育相談
27	SSW	スクールソーシャルワーカー	松本 桂子			教育相談
28	ALT	英語指導助手	ゲーラ・ルイス・サルバドル			英語教育
29		業務員	シルバー人材センターより	岡崎 富雄 相澤 恵子	大友 和則 打矢 精子	環境整備、営繕

七ヶ浜町学校教育支援センター設置要綱

(設置の目的)

第1条 不登校児童・生徒が安心できる居場所づくりをしながら集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・適応指導・学習指導等（以下「指導等」という。）を行うことにより、その学校復帰を支援し、もって不登校児童・生徒の社会的自立に資するため、七ヶ浜町学校教育支援センター（以下「教育支援センター」という。）を設置する。

(対象児童・生徒)

第2条 指導等の対象は、七ヶ浜町立小・中学校に在籍する児童・生徒で、学校不適応等の理由により学校を長期にわたり欠席している児童・生徒等とする。

(所在地)

第3条 教育支援センターの所在地は、七ヶ浜町吉田浜字野山5-9（七ヶ浜町中央公民館内）とする。

(開所日等)

第4条 教育支援センターの開所日等は、次のとおりとする。

- (1) 開所日 原則として毎週火曜日から金曜日までとする。
- (2) 開所時間 原則として午前9時から午後3時までとする。

(通所申込み等)

第5条 教育支援センターへの通所の申込み及び決定の手続きは、次のとおりとする。

- (1) 通所を希望する児童・生徒の保護者は、在籍する学校長に「七ヶ浜町学校教育支援センター通所申出書」（様式1）によりその旨を申し出るものとする。
- (2) 申出を受けた学校長は、通所が適当と認められる場合、「七ヶ浜町学校教育支援センター通所申込書」（様式2）により教育委員会に申し込むものとする。
- (3) 通所申込書を受けた教育長は、学校長と協議のうえ、通所の適否を「七ヶ浜町学校教育支援センター通所承認書」（様式3）により学校長及び保護者に通知するものとする。

(オリエンテーション)

第6条 学校長は、教育支援センターに対し、通所する児童・生徒氏名等を連絡し、それを受けた教育支援センターは、該当児童・生徒や保護者に対して通所に伴う必要なオリエンテーションを行うものとする。

(指導方針)

第7条 教育支援センターにおける指導方針は、次のとおりとする。

- (1) 個々に応じて段階的に指導等を行い、不安な日々を送っている児童・生徒に安心な居場所を提供する。
- (2) 希望や意欲が生まれた児童・生徒に対して、グループでの生活指導及び学力の補充等を行い、自立や学校復帰を支援する。

(指導体制・内容・学校や保護者との連携)

第8条 教育支援センターにおける指導体制・内容・方法・学校との連携等は、次のとおりとする。

- (1) 指導体制は、教育支援センター所長のほかに若干名の指導員等を配置する。
- (2) 指導内容は、児童・生徒の実態に応じて体験的な活動及び学習指導等を中心に、個別または集団指導を行う。
- (3) 指導員は、必要な知識及び経験又は技能を有し、職務遂行に必要な熱意と識見を有する者を充てる。また、必要に応じてカウンセラー等の専門家を配置する。
- (4) 指導員は、児童・生徒の回復状況を把握し、定期的に保護者と在籍校との報告・連絡・相談を行うほか、家庭訪問活動も行う。
- (5) 保護者は、教育支援センターの教育相談を受けることができる。
- (6) 教育支援センターは、保護者とのネットワークを組織し、保護者間の情報交換や不登校児童生徒に対応する教育力の向上を目指す。

(教育委員会の責務)

第9条 教育委員会の責務は、次のとおりとする。

- (1) 教育委員会は、設置の目的を達成するために必要な指導等を学校及び教育支援センターに行い、最終的な責任を負う。
- (2) 教育委員会は、設置の目的が達成できるよう規則の制定等の教育支援センターの整備に必要な方策を講じる。また、関係機関等との連携・協力関係が適切にできるよう配慮する。

(学校の責務)

第10条 学校は、校長、教頭、生徒指導主任、養護教諭、当該児童生徒の学級担任その他不登校に関係する者で構成する不登校問題対策委員会を設置し、次の事項を行う。

- (1) 不登校・不登校傾向の児童生徒についての対応を全校体制で取り組むこと。
- (2) 定期的に教育支援センター及び関係する外部機関と連絡を密にし連携を図ること。
- (3) 定期的に不登校傾向児童生徒の有無の調査を行うこと。
- (4) その他不登校対策に必要な事項

(通所児童・生徒の取扱い)

第11条 教育支援センターに通所している児童・生徒の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 児童・生徒が、教育支援センターに通所または体験通所して指導等を受けている場合は、学校長は児童・生徒指導要録上出席扱いとする。
- (2) 教育支援センター所長は、児童生徒が所属する学校長に対し、毎月はじめに、前月の教育活動を通所証明書(様式4)により発行するものとする。
- (3) 児童・生徒が、教育支援センターに通所または体験通所している中でのケガ等の事故に遭った際は、独立行政法人日本スポーツ振興センター法(平成14年法律第162号)の定めるところによる。

(補則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則 (平成26年3月3日教委訓令第1号)

この訓令は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成29年11月30日教委訓令第2号)

この訓令は、平成29年12月1日から施行する。

G. 学校給食センターの概要

昭和43年2月に建設された学校給食センターは、平成23年3月の東日本大震災により甚大な被害を受け、平成25年4月に解体されました。

現在は、現所在地に新たに建設された学校給食センターにて、平成26年4月より供用を開始しており、衛生面に配慮したドライシステムを採用し、鉄骨造り、2階建て、延床面積1,228㎡、厨房設備は環境に配慮し、給湯機器をはじめ、調理機器類のすべてに電化式を配した安全な施設となっています。

所在地	〒985-0823 宮城県七ヶ浜町遠山五丁目5番50号
電話	022-361-5911
FAX	022-361-5912
給食開始	昭和43年2月
新センター供用開始	平成26年4月（調理能力 2,200食）

1 給食運営方針

学校給食は、成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のために、バランスのとれた栄養豊かな食事を提供する。

また、健康の増進や体位の向上はもちろん、正しい食事のあり方や望ましい食習慣の形成をはかり心豊かな児童生徒を育成する。

2 基本方針(学校給食法第2条)

- 〈1〉適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- 〈2〉日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- 〈3〉学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- 〈4〉食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の善に寄与する態度を養うこと。
- 〈5〉食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈6〉我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- 〈7〉食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

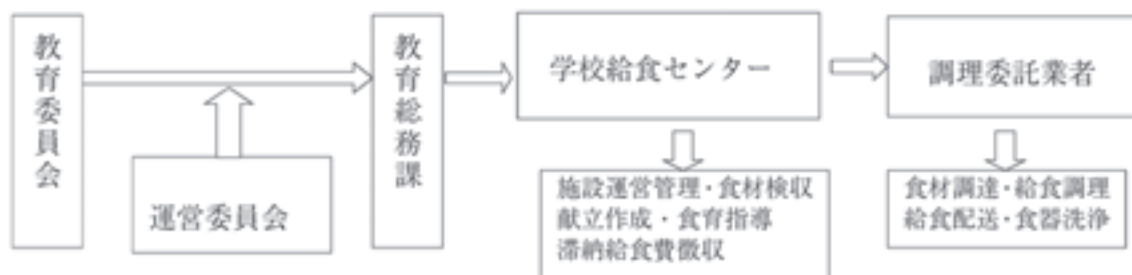
3 重点目標

- 〈1〉 栄養バランスのとれたおいしい給食の提供と食育の推進

4 重点施策

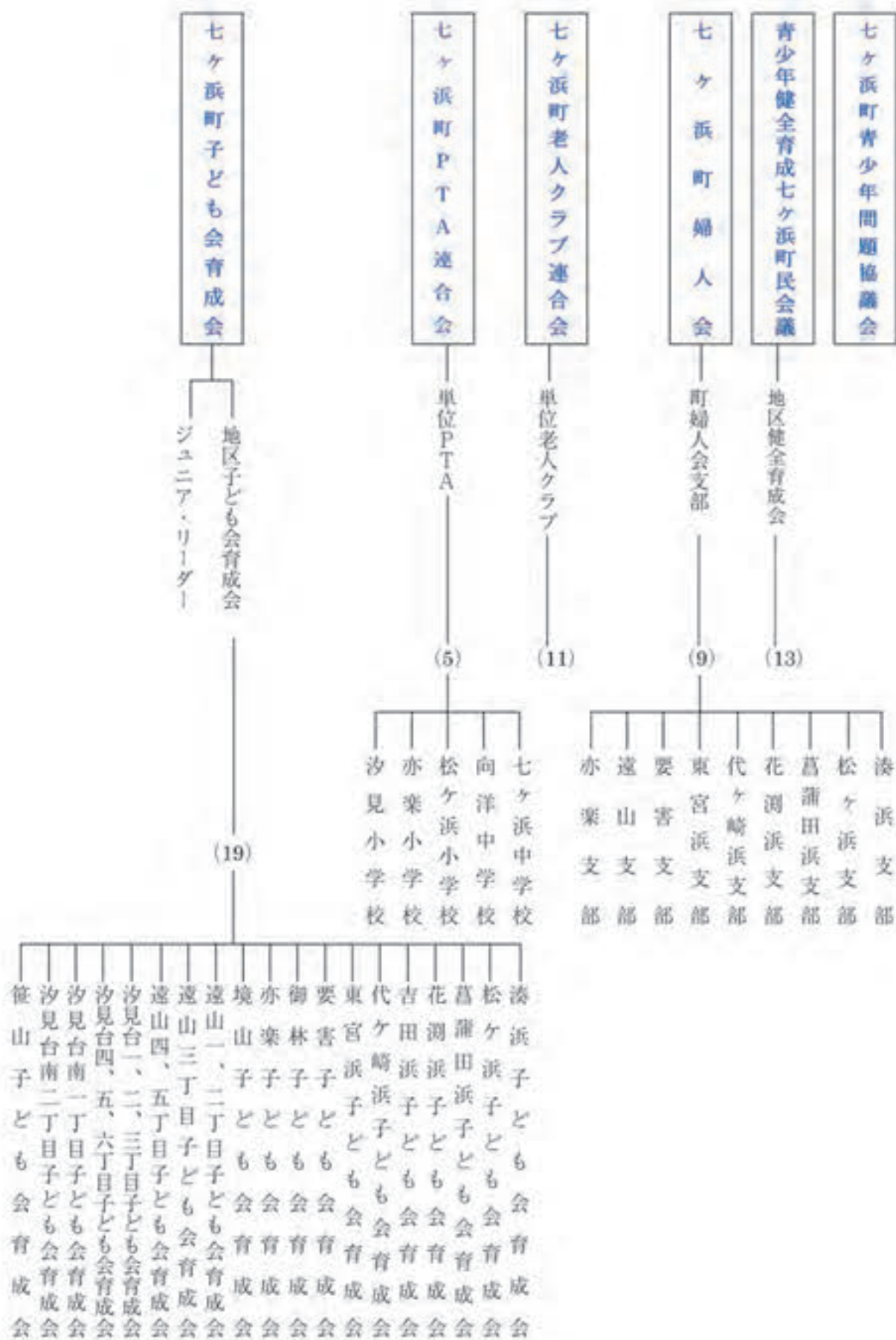
- 〈1〉 特色ある学校給食の提供
- 〈2〉 衛生管理の徹底
- 〈3〉 確実なアレルギー除去食の提供
- 〈4〉 教育の一環としての食に関する指導
- 〈5〉 学校、家庭、地域および関係機関との連携
- 〈6〉 調理委託業者と連携・協力した施設運営
- 〈7〉 学校給食費管理システムを活用した徴収事務の効率化

5 運営組織機構・職員構成



【 所長1名・事務職員1名・栄養教諭2名 】





I. 七ヶ浜町の生涯学習施設

1 社会教育施設等

〈1〉七ヶ浜町中央公民館（生涯学習センター）



所在地 七ヶ浜町吉田浜字野山5-9

電話 022-357-3302

(FAX 022-357-2615)

開館時間 午前9時～午後9時30分

休館日 月曜日

(月曜日が祝日の場合は翌日)

年末年始

主な施設 会議室（大・中・小）、各種研修室、
講習室（A・B）、研修室（A・B）、
集会室（A・B）、調理室、和室、
町民交流室、陶芸館他

〈2〉西部地区公民館（遠山境山地区コミュニティセンター）



所在地 七ヶ浜町遠山一丁目15-1

電話 022-357-3302

開館時間 午前9時～午後9時30分

休館日 月曜日

(月曜日が祝日の場合は翌日)

年末年始

主な施設 和室、軽運動場

利用手続 利用したい日の3ヶ月前から受
け付ける。

所定の申請書を中央公民館に提
出する。

〈3〉七ヶ浜町歴史資料館



所在地 七ヶ浜町境山二丁目1-12

電話 022-365-5567

(FAX 022-365-5567)

開館時間 午前9時～午後4時

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は
翌日）、年末年始

主な施設 考古展示コーナー（大木囲貝塚
を中心に、町内の主要な遺跡の
出土品が各時代ごとに展示され
ている。）

民俗展示コーナー（漁労具や農
耕用具など）

研修室他

〈4〉七ヶ浜町老人福祉センター『浜風』



所在地 七ヶ浜町吉田浜字野山5-9
電話 022-357-4976
開館時間 午前9時～午後4時
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）、年末年始
主な施設 集会室（1～3）、浴場
利用案内 60歳以上の町民で、利用証の交付を受ければ、だれでも利用できる。
施設等の使用料は無料。

〈5〉七ヶ浜町図書センター



所在地 七ヶ浜町吉田浜字野山5-9
（生涯学習センター1階西側）
電話 022-357-3302（中央公民館）
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）、整理日（毎月最終金曜日）
年末年始等
利用案内 七ヶ浜町に居住、または勤務している方ならだれでも利用可能。図書の貸し出しは、一人5冊まで2週間借りることができる。貸し出しは無料。
学習室（開館時間：午前9時～午後9時30分）が併設。学習や読書の部屋として利用できる。

2 スポーツ施設



七ヶ浜サッカースタジアム

所在地 七ヶ浜町吉田浜字野山地内

スポーツ施設：電話 022-357-7920 FAX 022-357-7921

アクアリーナ：電話 022-357-7890 FAX 022-357-7222

野外活動センター：電話 022-357-3302 FAX 022-357-2615

休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）、年末年始

名 称	使用時間		管 理	
	曜 日	4月～3月		
武道館	火曜日～日曜日	9:00～21:30	指定管理者 357-7920	
野球場				
テニス・フットサルコート				
町民プール		10:00～21:30		
		(冬期:12月～3月) 10:00～20:30		
第1スポーツ広場		9:00～21:30		
第2スポーツ広場		9:00～17:00		
七ヶ浜サッカースタジアム				
キャンプ場		—		
屋内運動場		9:00～21:30		
七ヶ浜健康スポーツセンター		10:00～21:30		指定管理者 357-7890
		(バーデのみ:12月～3月) 10:00～20:30		
野外活動センター	9:00～17:00 (10月～3月は1600まで)	中央公民館 357-3302		

3 七ヶ浜国際村



所在地 七ヶ浜町花洲浜字大山1-1
 電話 022-357-5931
 F A X 022-357-5932
 開館時間 午前9時～午後10時
 休館日 火曜日(但し、火曜日が祝日の場合は翌日)、
 年末年始



主な施設 ホール、セミナー棟、レストラン、プリマスハウス、レンタルスペース
 利用案内 ホール 使用する日の1年前から受付
 その他の施設 使用する日の6か月前から受付
 (リハーサル室の個別利用をする場合、2か月前から受付)

※使用料、その他詳細については、事前に相談すること。なお、電話での予約はできないので
 注意すること。予約状況は町HPにて確認することができます。

※全館でインターネットが使用可能

棟	施設名	収容人員	主な設備／用途
ホール棟	ホール	577	音響照明一式、楽屋1~4、主催者控室 ／コンサート、発表会、講演会等
	リハーサル室	80	グランドピアノ／ピアノやダンス等の練習
セミナー棟	食の工房	16	システムキッチン2台、調理器具一式／ホームパーティー等
	手の工房	16	工作台等／絵画、木彫など創作活動
	セミナー室1	椅子のみ80 テーブル40	音響設備一式／講演会、展示会、パーティー
	セミナー室2	20	テーブル、椅子等／会議、研修
	セミナー室3	20	テーブル、椅子等／会議、研修
	外国語セミナー室	12	テーブル、椅子、ダーツマシン／会議、研修、ダーツ
	アンフィシアター		水に浮かぶ直径10mの円形野外ステージ ／野外コンサート、撮影会

4 保育所及び幼稚園・認定こども園

① 遠山保育所



所在地 七ヶ浜町遠山
四丁目 3 - 15
電 話 022 - 366 - 0444
定 員 90名

【保育目標】

- ・健康な子ども
- ・力いっぱい遊べる子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・豊かな感性をもって創意工夫する子ども

② 和光幼稚園（施設型）



所在地 七ヶ浜町花刈浜
字寺坂 12
電 話 022 - 357 - 2608
定 員 40名

【保育目標】

- ・仏教精神を基本とし生命尊重、報恩感謝、和合精神の三つを柱とし、情操教育をおこなう。

③ 遠山幼稚園遠山保育園（幼保連携型認定子ども園）



所在地 七ヶ浜町遠山
一丁目 1 - 29
電 話 022 - 363 - 0037
定 員 120名

【保育目標】

- ・仏教精神を基本とし生命尊重、報恩感謝、和合精神の三つを柱とし、情操教育をおこなう。

④汐見台幼稚園汐見台保育園（幼保連携型認定子ども園）



所在地 七ヶ浜町汐見台
三丁目3-43

電話 022-357-5731

定員 100名

【保育目標】

- ・仏教精神を基本とし生命尊重、報恩感謝、和合精神の三つを柱とし、情操教育をおこなう。

⑤第二柏幼稚園（私立）



所在地 七ヶ浜町東宮浜
字笠岩16-15

電話 022-364-7444

定員 105名

【保育目標】

- ・みんな平等
- ・つよく（健康）
- ・素直（正直）
- ・よい子（優賢）

⑥アイグラン保育園汐見台（私立）



所在地 七ヶ浜町汐見台
七丁目1-2

電話 022-357-6711

定員 60名

【保育目標】

- ・心身ともに健康な子ども
- ・友達を大切にす思いやりのある子ども
- ・様々な事象に好奇心・探究心をもち、よく考える子ども
- ・素直に自分の気持ちを表現できる子ども

J. 教育関係各種委員

1 教育委員

氏名	地区名等	就任月日	備考
須藤 清	塩釜市	令和4年10月 1日	教育長
我妻 典夫	汐見台南	令和元年10月 1日	教育長職務代理者
渡邊 裕子	葛蒲田浜	令和4年10月 1日	
齋藤絵梨香	遠山	令和4年 4 月 1日	
岩本寿美子	亦楽	令和5年10月 1日	

2 社会教育委員

(任期 令和6年4月1日～
令和8年3月31日)

氏名	所属等
三浦 敏	七ヶ浜町校長会
藤里 美穂	子ども会育成会
佐藤美代子	婦 人 会
渡邊 哲也	分 館 長
阿部 真也	ス ポ ー ツ 協 会
坂本 和子	スポーツ推進委員
鈴木 慶二	文 化 協 会
瀬戸美紀子	ボランティア友の会
鈴木 幹夫	老人クラブ連合会
瀬戸 源市	スポーツ少年団本部
瀬戸 秀壽	学 識 経 験 者
村上 則子	学 識 経 験 者

3 文化財保護委員

(任期 令和6年4月1日～
令和9年3月31日)

氏名	地区名
鈴木 喜雄	吉田浜
金子美千子	亦 楽
阿部 美紀	汐見台南
氏家 進	湊 浜
東海林泰士	仙台市

4 スポーツ推進委員

(任期 令和5年4月1日～
令和7年3月31日)

地区名	氏名	専門種目
湊 浜	米内山博美	野 球
松ヶ浜	三浦 大介	バスケットボール
菖蒲田浜	渡邊 拓也	バドミントン
花 満 浜	渡邊 俊邦	野 球
吉 田 浜	稲妻 浩希	綱 引 き
代ヶ崎浜	伊藤 長喜	サ ッ カ ー
東 宮 浜	我妻 周弥	バドミントン
要害・御林	梶田 正則	ソフトボール
境 山	新田 智史	ラ グ ビ ー
遠 山	徳永希和子	野 球
亦 楽	佐藤 幹夫	バレーボール
汐見台	高橋 義宏	野 球
汐見台南	坂本 和子	ノルテ・イラクウォーキング
笹 山	秋元 利雄	水 泳
教育委員会推薦	松本 徹朗	野 球

5 分館長

(任期 令和6年4月1日～
令和8年3月31日)

地区名	氏名
湊 浜	小林 雅彦
松ヶ浜	紀野国芳信
菖蒲田浜	齋藤 勝幸
花 満 浜	澤田 浩二
吉 田 浜	稲妻 孝俊
代ヶ崎浜	下山 英雄
東 宮 浜	我妻 義美
要害・御林	鈴木 守
境 山	千葉 七代
遠 山	岸柳 勝也
亦 楽	向笠 保倫
汐見台	渡邊 哲也
汐見台南	柳原 真也
笹 山	渡邊 明

6 学校給食センター運営委員

(任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日)

氏名	所属等	氏名	所属等
神宮寺純子	亦楽小学校PTA 会長	西村 大資	塩釜地区薬剤師会
鈴木 洋市	松ヶ浜小学校父母教師会長	渡部 順子	塩釜保健所
庄子 嘉洋	汐見小学校PTA 会長	伊藤ひろみ	亦楽小学校校長
佐藤 直美	七ヶ浜中学校父母教師会長	土生 直樹	松ヶ浜小学校校長
鈴木 博	向洋中学校PTA 会長	丹野 哲也	汐見小学校校長
赤間 淳	七ヶ浜町健康づくり推進員	三浦 敏	七ヶ浜中学校校長
鈴木 若子	七ヶ浜町観光協会理事	高橋 松雄	向洋中学校校長
鹿島 哲	塩釜医師会		

七ヶ浜町の教育

令和6年7月発行
発行者
七ヶ浜町教育委員会

〒985 - 8577

宮城県七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺 5-1

TEL 022 - 357 - 7440 EXT 360～363

FAX 022 - 357 - 1331

E-mail kyouiku@shichigahama.com

